

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月28日

日本自動車部品工業健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	27488
組合名称	日本自動車部品工業健康保険組合
形態	総合
業種	機械器具製造業

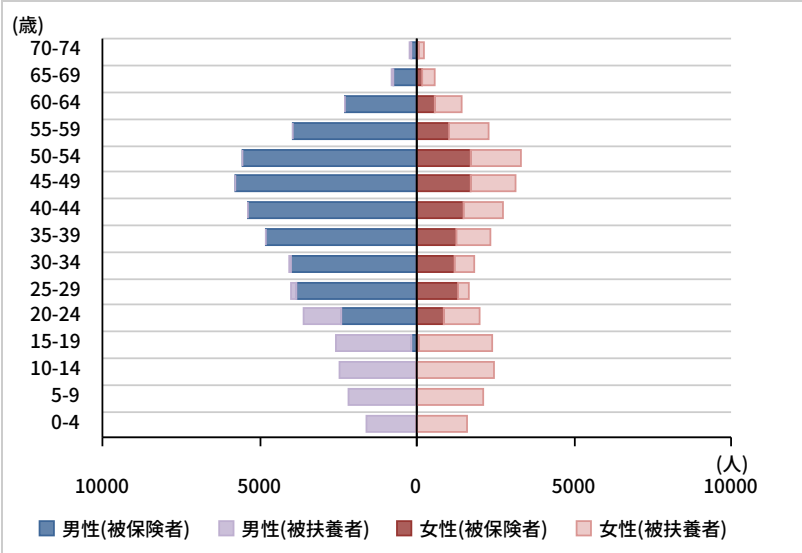
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	52,000名 男性77.5% (平均年齢42.77歳) * 女性22.5% (平均年齢41.74歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	82,300名	-名	-名
適用事業所数	209カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	209カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	97% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	23,910 / 33,249 = 71.9 %	
	被保険者	22,069 / 26,615 = 82.9 %	
	被扶養者	1,841 / 6,634 = 27.8 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	424 / 5,454 = 7.8 %	
	被保険者	406 / 5,273 = 7.7 %	
	被扶養者	18 / 181 = 9.9 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	372,092	7,156	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	10,797	208	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	11,978	230	-	-	-	-
	疾病予防費	125,738	2,418	-	-	-	-
	体育奨励費	2,620	50	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	5,448	105	-	-	-	-
	小計 …a	528,673	10,167	0	-	0	-
経常支出合計 …b	23,916,839	459,939	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	2.21						

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	172人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	2,420人	25～29	3,834人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	4,003人	35～39	4,816人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	5,347人	45～49	5,747人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	5,539人	55～59	3,967人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2,299人	65～69	770人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	171人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	79人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	864人	25～29	1,329人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,226人	35～39	1,259人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,506人	45～49	1,688人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,686人	55～59	1,026人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	558人	65～69	152人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	53人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	1,614人	5～9	2,171人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	2,455人	15～19	2,379人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,180人	25～29	163人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	55人	35～39	27人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	18人	45～49	9人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	19人	55～59	15人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	27人	65～69	29人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	30人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	1,591人	5～9	2,089人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	2,443人	15～19	2,371人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,160人	25～29	364人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	652人	35～39	1,064人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,272人	45～49	1,410人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,578人	55～59	1,256人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	831人	65～69	388人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	193人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

※被保険者数・被扶養者数は令和6年1月末の数値を入力している

※対象となる拠点数は全国に所在しており、また支店・工場などの拠点数を把握できず、事業所数と同数としている

男女比が3:1であり、男性被保険者が多い

被保険者の年齢分布の割合ピークが45-49歳であり(第二期・40-44歳)、平均年齢を第二期計画と比較すると男性で1.3歳、女性で1.8歳上昇している
健保組合には専門職が不在であり、各事業所の専門職についても常勤・非常勤ともに把握していない

経常支出に対する保健事業費の割合を比較すると全国の4.39%(R5年12月4健保連報告)に対し、約半分の2.21%にとどまっている。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

事業主の取組に関して把握していない。

未受健者に関して追跡・勧奨を行っていない。

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	事業所訪問
予算措置なし	健康企業宣言

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	広報誌の発行
保健指導宣伝	ホームページの運営

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品利用促進通知
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被保険者）
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被扶養者）
疾病予防	生活習慣病予防健診A
疾病予防	生活習慣病予防健診A2
疾病予防	生活習慣病予防健診B
体育奨励	夏期プール施設契約
その他	契約保養施設
その他	共同保健指導宣伝
予算措置なし	医療費諸統計の作成
予算措置なし	医療事務研究会
予算措置なし	フィットネスクラブ法人契約

事業主の取組

1	その他
---	-----

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	1	事業所訪問	加入事業所からの意見を直接ヒアリングすることでサービスの向上を図る。 また、特定健康診査・特定保健指導の実施率向上について理解を深めてもらい、事業所と健保組合にて方策を採る。	一部の事業所	男女	0～(上限なし)	-	-	令和2年以降、コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。	-	訪問実施だけではなく、オンラインで実施できる環境整備	1
	1,2	健康企業宣言	健康企業宣言への取り組みを通して、事業所からの従業員に対する健康管理意識を高めることで、加入員の健康維持・増進に役立て、ひいては医療費の適正化を図る。	全て	男女	16～(上限なし)	被保険者	-	通年で受付	中小規模対象の健康経営優良法人の取得を目指す際には健康企業宣言の銀の認定以上が必須となっているため、増加した	制度自体の周知不足	2
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,5	広報誌の発行	情報発信、健康意識の向上	全て	男女	0～74	加入者全員	-	年4回(4・7・10・1月)発行 紙媒体及び電子版での発行	各種健診・検診・健康管理情報など時期に合わせた内容を掲載 これまで紙媒体のみの発行であったが、電子版も発行したことにより、被扶養者の目にも届きやすくなった	加入者の感想を確認する方法がないため、求められている情報が把握できない	3
	5	ホームページの運営	健康保険制度の理解を深めてもらうとともに、健診補助をはじめとする保健事業の利用方法を案内する。	全て	男女	0～74	-	-	-	-	-	-
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	特定健診の受診率向上、加入者の健康維持	全て	男女	40～(上限なし)	-	-	契約健診機関にて通年実施	特定健康診査のみならず、各種生活習慣病予防検診・事業主健診・人間ドックと併せて実施	被扶養者が利用できる健診機関の所在地に偏りがある	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善	全て	男女	40～74	基準該当者	-	通年実施 該当となった被保険者には事業所経由で通知。	東振協契約だけでなく、人間ドック直接契約機関で可能なところについては指導契約も締結している 該当者の通知を事業所経由にすることで担当者が取りまとめやすくしている 健康企業宣言・健康優良法人の認定要件に実施率が含まれたことで、参加事業所が積極的に利用し始めた	例年10～13%ほど脱落者が発生している	-
保健指導宣伝	7	ジェネリック医薬品利用促進通知	薬剤費医療費の適正化	全て	男女	0～74	基準該当者	-	1月発送	-	前期高齢者の利用割合が若干低い	-
	2	医療費通知	医療費の情報提供と請求誤りの是正 コスト意識の喚起	全て	男女	0～(上限なし)	-	-	1月に送付	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
疾病予防	3	人間ドック	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療開始	全て	男女	35～74	被保険者、被扶養者、基準該当者	通年実施 健診料金の一部補助	直接契約健診機関または東振協契約健診機関以外の実施の場合にも補助金支給を実施	補助金を除いた負担金額がやや高額利用率が低い	-
	3	婦人生活習慣病予防健診(被保険者)	健康状態の確認、婦人科を含む疾患の早期発見・早期治療開始	全て	女性	35～74	-	6~7月に申込受付 9~2月に実施	申込方法が事務担当者を経由する以外にインターネットからの申し込みにも対応。 乳房と子宮検査が標準項目としているが一部負担金はB健診と同一に設定	事業主健診として実施される生活習慣病予防健診Bの利用者が多い	-
	3	婦人生活習慣病予防健診(被扶養者)	被扶養配偶者を対象とした健康状態の確認、婦人科疾患の早期発見・早期治療	全て	女性	16～74	被扶養者	6~7月に申込受付 9~2月に実施 被扶養者「妻」(または妻に準ずる続柄の被扶養者)にが対象	所定の用紙での申し込み以外にインターネットからの申し込みにも対応。 乳房と子宮検査が標準項目としているが一部負担金はB健診と同一に設定	通年実施を行っていない 直接個人への案内を行っていない(ホームページ、広報誌、事業所経由のみ)ため、認知度を上げる方法の検討	2
	3	生活習慣病予防健診A	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療開始	全て	男女	16～34	被保険者	通年実施	契約健診機関での実施だけでなく、任意の健診機関で実施した健診に対しても補助金を支給	未受診者の検索、受健勧奨を実施していない 労働安全衛生法で定められた事業主健診での必須項目を満たしていないため利用者は減少傾向である	-
	3	生活習慣病予防健診A2	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療開始	全て	男女	16～74	-	通年実施	契約健診機関での実施だけでなく、任意の健診機関で実施した健診に対しても補助金を支給 労働安全衛生法で定められた事業主健診での必須項目を満たした内容	未受診者の検索、受健勧奨を実施していない	-
	3	生活習慣病予防健診B	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療開始	全て	男女	35～74	-	通年で実施	契約健診機関での実施だけでなく、任意の健診機関で実施した健診に対しても補助金を支給 労働安全衛生法で定められた事業主健診での必須項目を満たした内容に加え、上部消化器官や大腸検査など項目を増やしている	未受診者の検索、受健勧奨を実施していない 人間ドックや婦人生活習慣病予防健診の利用を選択する者もいる	3
体育奨励	5	夏期プール施設契約	加入者の健康増進・リフレッシュ	全て	男女	0～74	加入者全員	7~8月実施 4~5施設程度と契約	法人契約割引とあわせて利用補助を行っているため、比較的気軽に施設利用が可能。	契約施設が東京・神奈川・三重のみのため、近隣在住者以外には利用が難しい 配布枚数と利用人数との乖離が大きい	-
その他	8	契約保養施設	加入者の健康増進・リフレッシュ	全て	男女	7～(上限なし)	加入者全員	通年利用可 被保険者並びに小学生以上の被扶養者に対し補助金を支給	ホームページ・広報誌にて案内	コロナウィルス感染拡大のため旅行を控える風潮が強かった。 補助金申請方法が書面のみであるため、WEBからの申し込みなど利便性を高める必要がある	2
	5	共同保健指導宣伝	健康の保持増進	一部の事業所	男女	18～74	加入者全員	東振協が実施する事業(いきいき健康づくり他)に参加	ホームページ・広報誌に掲載して周知	会場が東京近郊になるため、地方在住者の参加が難しい。	2
予算措置なし	1	医療費諸統計の作成	医療費の適正化	全て	男女	0～74	加入者全員	被保険者・被扶養者の資格、診療報酬、現金給付等により諸統計資料を作成	事業運営の参考とした	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	8	医療事務研究会	医療費の適正化	全て	男女	0～(上限なし)	その他	- 各種医療事務研究会に参加	レセプト点検で大きな効果をあげた	-	-
	2,5	フィットネスクラブ法人契約	運動習慣が定着することによって健康リスクの軽減を図る	全て	男女	15～(上限なし)	加入者全員	- 通年で入会可能	法人契約を締結し、一般より低い会員料金にて利用可能	利用登録者自体が少なく、その中でもアクティブユーザーはごく一部に限られる	2


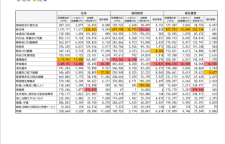
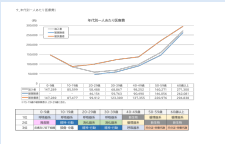
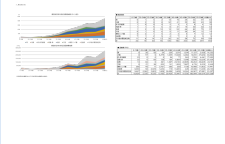

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

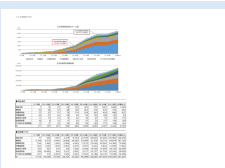




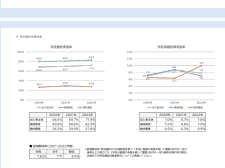

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

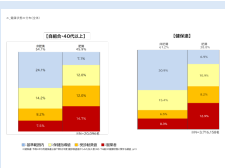
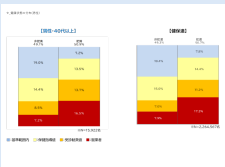
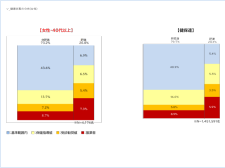
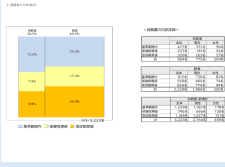
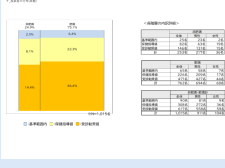
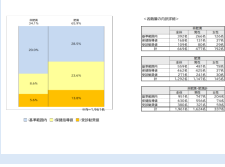
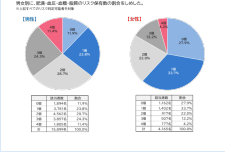
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
その他	-	-	-	~	-	-	-	-

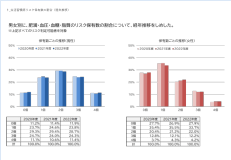

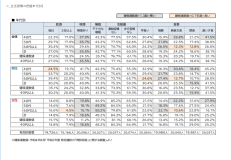
STEP 1-3 基本分析

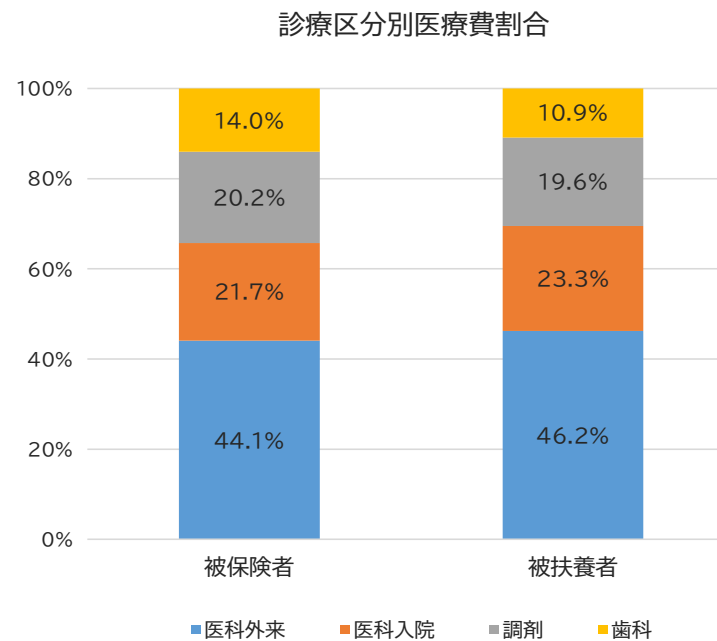
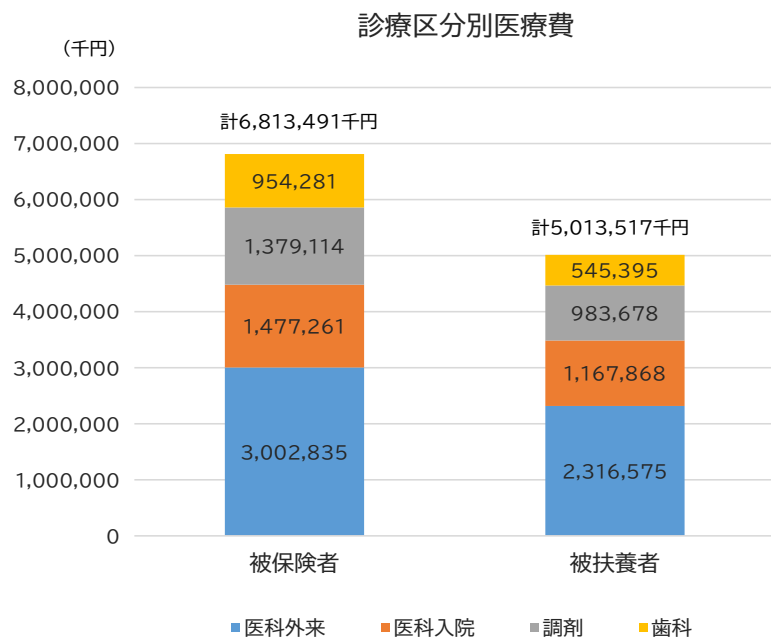
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		診療区分別医療費	医療費・患者数分析	-
イ		疾病別医療費	医療費・患者数分析	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系が医療費合計、1人あたり医療費、受診者数とも最も多い。 ・次いで循環器系が医療費合計、1人あたり医療費が高い。 <p>【被保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器系が医療費合計、1人あたり医療費が高い。 ・次いで新生物が医療費合計、1人あたり医療費が高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 <p>【被扶】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系が医療費合計、1人あたり医療費、受診者数とも最も多い。→コロナ影響か？ ・次いで新生物が医療費合計、1人あたり医療費が高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。 ◆被保険者の1人あたり医療費第三位は内分泌（受診者人数も約5,000）であり、糖尿病対策も必須。同様に被扶も1人あたり医療費第三位は内分泌
ウ		年代別一人あたり医療費	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢とともに1人当たり医療費は増加 ・若年層は呼吸器系が高いが、40歳以降、循環器、新生物、内分泌（生活習慣病）が上位を占める。 ・全年代で被扶養者の1人あたり医療費が被保険者を上回っている。 ・性別では、男性は40歳以降循環器、新生物、内分泌が高い。女性は40歳以降新生物、循環器、内分泌が高い。
エ		悪性新生物	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> ・35歳以降加齢に応じて罹患者数が増加。特に乳房は40歳以降多くを占める。 ・新生物医療費も35歳以降増加。特に乳房は60歳まで多くを占める。
オ		悪性新生物	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> ・部位別罹患率は男性は①大腸、②胃、③肺、女性は①乳房、②大腸、③子宮の順に高い。

力		生活習慣病の状況	医療費・患者数分析	"・35歳以降、生活習慣病の罹患者数が加齢とともに増加。疾患別では高血圧（循環器系）、糖尿病（内分泌）、脂質異常（内分泌）が多い。特に30代→40代の有病率の増加率が高い（30代比で135.4%） ・医療費総額も40歳以降高血圧、糖尿病などが加齢とともに増加。"
キ		メンタル系疾患の状況	医療費・患者数分析	"・被保険者は気分障害、神経症性障害・ストレス関連障害が医療費、受診者数とも多い。→職場のストレスを原因とするもの（被扶養者は上位疾患、若年増でも精神障害が1人あたり医療費上位になっていることから、職場のストレス以外を原因とするものが多いと推測）"
ク		人工透析者の状況	医療費・患者数分析	"・1人あたり外来医療費は年間約3,600～4,000千円前後と高額。 ・人工透析者が脱退があっても、同数ほどの新規者がいるため、横ばいで、いずれも「高止まり」の傾向にある。"
ケ		後発医薬品使用率	後発医薬品分析	・年々使用割合は増加し、2022年度で基準値（80%）を達成。 ・被保険者に比べ被扶養者での使用割合が約3%弱低い
コ		後発医薬品使用率	後発医薬品分析	・被保険者は10代、被扶養者は20代と若年層での使用割合が基準値を下回っている。 ・前期高齢者も基準値を上回っているが、うち被扶養者は基準値をクリアしている状況。
サ		特定健診保健指導	特定保健指導分析	特定健診は、被保険者が年度比2.3ポイント上昇したのに対し、被扶養者は1.2ポイント減少。被扶養者に対し更なる健診勧奨とパート先などで実施した健診結果の回収を強化したい。特定保健指導は、加入者全体で0.9ポイント減。初回面談後の途中中断者に対し、事業主宛に指導再開を促すよう通知しているが、今後はその後の状況確認も行う。
シ		特定保健指導対象者割合	特定保健指導分析	被保険者・被扶養者ともに全国平均より高い割合で該当している。

ス		健康状態の分布(全体)	健康リスク分析	受診勧奨値となる者の割合が健保連数値より高く、重症化しないうちに受診につなげて数値をコントロールすることが必要。
セ		健康状態の分布(男性)	健康リスク分析	・40歳以上の男性では健保連数値と比べて肥満割合が+0.2%、服薬者割合は-1.5%。
ソ		健康状態の分布(女性)	健康リスク分析	・40歳以上の女性では健保連数値と比べて肥満割合が+6.5%、服薬者割合は+1.8%
タ		服薬者の分布(血圧)	健康リスク分析	・服薬移行してもコントロールできていない層が一定いる
チ		服薬者の分布(血糖)	健康リスク分析	・服薬移行してもコントロールできていない層が一定いる
ツ		服薬者の分布(脂質)	健康リスク分析	・服薬移行してもコントロールできていない層が一定いる
テ		生活習慣病リスク保有数の割合	健康リスク分析	・男性はリスク4：11.4%、リスク3：24.3%、リスク2：28.7% ・女性はリスク4：4.2%、リスク3：12.2%、リスク2：22.0% ・リスク保有4個の方の割合は、やや多い(11.4%)

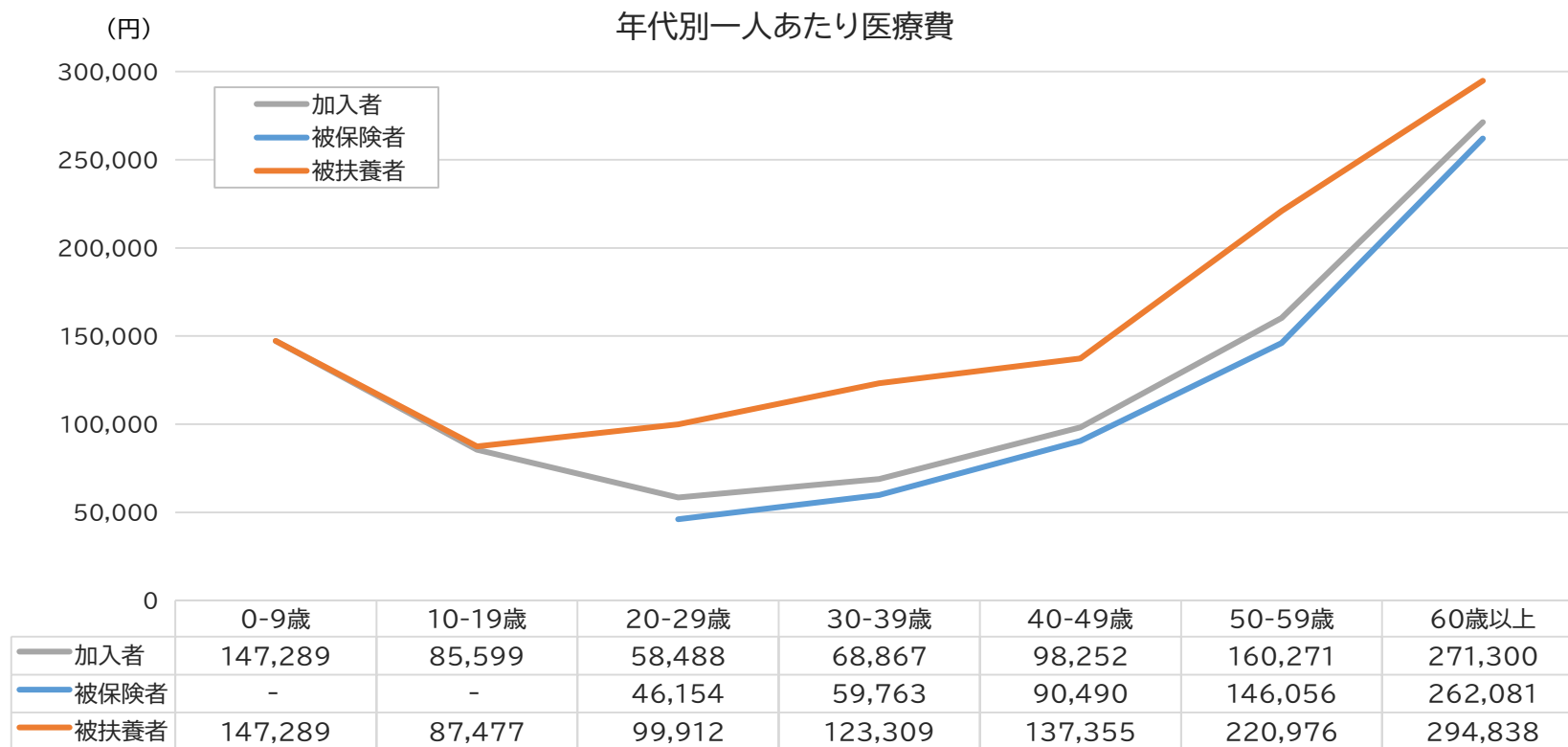
ト		生活習慣病リスク保有数の割合（経年推移）	健康リスク分析	・ 男女いずれも経年で大きな動きはない（ほぼ横ばい）
ナ		生活習慣の把握(40代以上)	健康リスク分析	<p>"・ 男性では健保連数値と比べて「喫煙」「睡眠」「咀嚼」「朝食欠食」「間食」「遅い夕食」が悪い傾向、「飲酒頻度」「酒量」は良い傾向。</p> <p>・ 女性では健保連数値と比べて「喫煙」「睡眠」「咀嚼」「朝食欠食」「遅い夕食」が悪い傾向、「早食い」は良い傾向。</p> <p>※特に女性の喫煙割合が悪い傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女とも高い喫煙率 ・ よく噛まない(=血糖値は上がりやすい)が多い"
ニ		生活習慣の把握年代別2	健康リスク分析	-
ヌ		健診検査値の男女・年代別（肥満・血圧）	健康リスク分析	・ III度血圧(男=1.7%/女=1.0%)は要注意(心疾患・脳疾患予備群)



■ 1位:赤 ■ 2位:黄

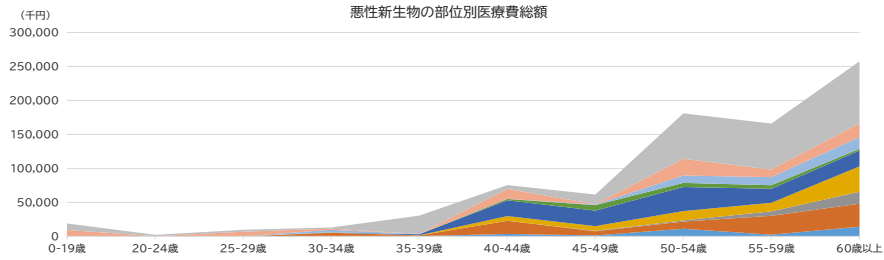
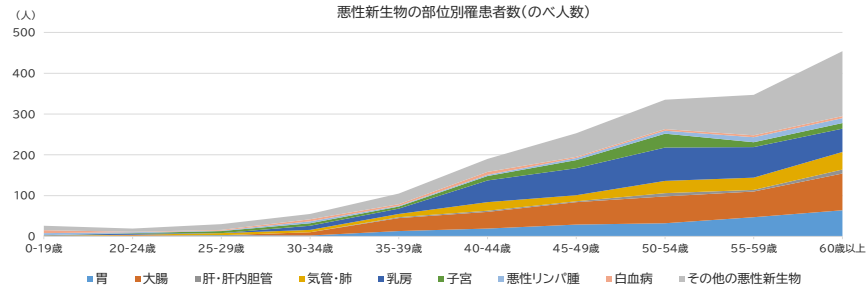
	全体				被保険者				被扶養者			
	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者(円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者(円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者(円)	受診者数
感染症及び寄生虫	287,312	3,077	33,455	8,588	159,725	2,658	38,479	4,151	127,587	3,836	28,755	4,437
新生物	1,075,171	11,517	236,353	4,549	647,798	10,779	226,661	2,858	427,373	12,849	252,734	1,691
血液及び造血器	139,500	1,494	141,052	989	103,905	1,729	178,225	583	35,595	1,070	87,672	406
内分泌、栄養及び代謝	852,212	9,128	124,976	6,819	563,020	9,368	113,718	4,951	289,193	8,695	154,814	1,868
精神及び行動障害	563,817	6,039	109,820	5,134	283,866	4,723	93,840	3,025	279,952	8,417	132,741	2,109
神経系	376,339	4,031	129,016	2,917	195,706	3,256	99,192	1,973	180,632	5,431	191,348	944
眼及び付属器	347,143	3,718	20,078	17,290	193,722	3,223	23,616	8,203	153,421	4,613	16,884	9,087
耳及び乳様突起	105,010	1,125	23,161	4,534	47,613	792	24,824	1,918	57,398	1,726	21,941	2,616
循環器系	1,110,945	11,900	164,487	6,754	910,364	15,148	169,339	5,376	200,581	6,031	145,559	1,378
呼吸器系	1,389,176	14,880	45,698	30,399	492,842	8,200	35,659	13,821	896,334	26,949	54,068	16,578
消化器系	741,294	7,940	75,898	9,767	546,906	9,100	83,205	6,573	194,388	5,845	60,860	3,194
皮膚及び皮下組織	546,609	5,855	30,809	17,742	259,948	4,325	32,232	8,065	286,661	8,619	29,623	9,677
筋骨格系及び結合組織	669,884	7,175	58,938	11,366	438,664	7,299	55,199	7,947	231,219	6,952	67,628	3,419
腎尿路生殖器系	579,180	6,204	94,622	6,121	370,883	6,171	100,320	3,697	208,297	6,263	85,931	2,424
妊娠、分娩及び産じょく	130,640	1,399	218,098	599	56,782	945	199,936	284	73,859	2,221	234,471	315
周産期	175,246	1,877	474,923	369	67	1	16,845	4	175,179	5,267	479,943	365
先天奇形、変形及び染色体異常	170,117	1,822	221,507	768	15,418	257	103,480	149	154,699	4,651	249,917	619
他に分類されないもの	232,076	2,486	31,151	7,450	119,699	1,992	29,374	4,075	112,377	3,379	33,297	3,375
損傷、中毒	406,053	4,349	49,100	8,270	206,657	3,439	60,057	3,441	199,396	5,995	41,291	4,829
健康に影響する要因及び保健サービス	13,024	139	62,314	209	7,223	120	55,559	130	5,801	174	73,429	79
特殊	328,664	3,520	28,284	11,620	190,755	3,174	28,841	6,614	137,909	4,146	27,549	5,006

ウ_年代別一人あたり医療費1



※15-19歳の被保険者は、20-29歳に含む。

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
1位	呼吸器系	呼吸器系	呼吸器系	呼吸器系	新生物	循環器系	循環器系
2位	周産期	精神・行動	消化器系	消化器系	循環器系	新生物	新生物
3位	皮膚及び皮下組織	損傷・中毒	精神・行動	精神・行動	呼吸器系	内分泌・栄養代謝	内分泌・栄養代謝



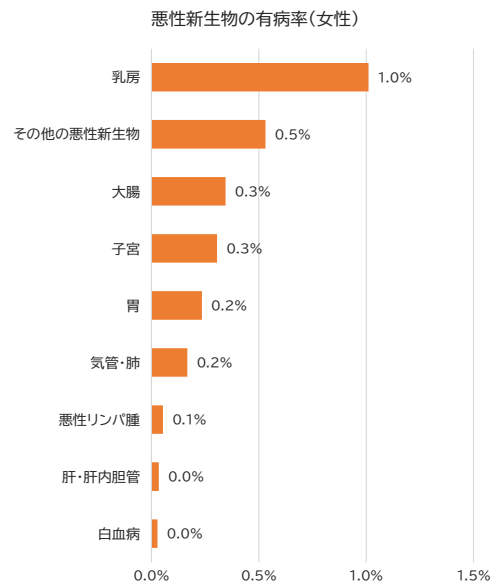
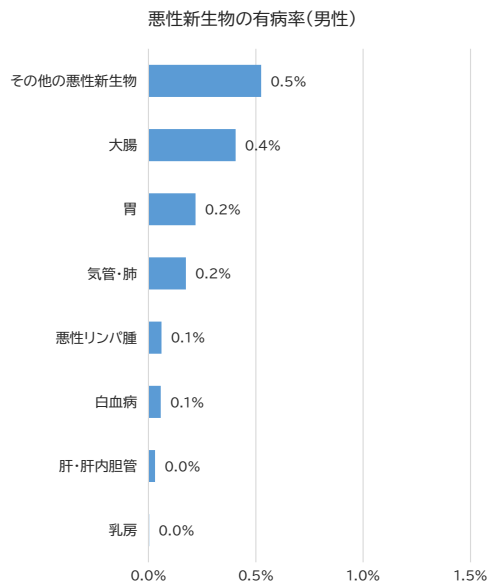
※良性新生物(腫瘍)およびその他の新生物(腫瘍)は対象外。

■ 罹患患者数

	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
胃	0	1	3	2	13	19	29	32	47	64
大腸	0	2	0	8	32	41	55	66	63	90
肝・肝内胆管	1	0	0	0	2	3	2	8	4	10
気管・肺	1	1	5	6	8	21	15	30	30	43
乳房	1	3	0	10	13	53	66	82	75	57
子宮	0	1	5	6	5	11	20	34	12	14
悪性リンパ腫	5	2	1	5	2	3	5	7	12	12
白血病	7	1	2	5	4	7	3	4	5	5
その他の悪性新生物	11	8	14	13	26	32	58	72	99	159
計	26	19	30	55	105	190	253	335	347	454

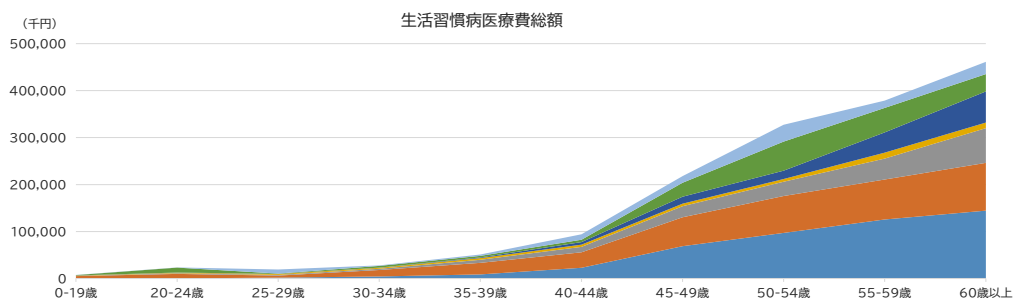
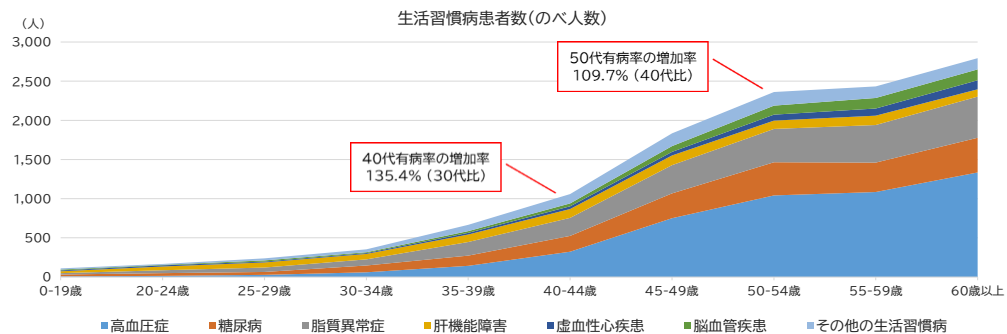
■ 医療費(千円)

	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
胃	0	30	50	34	239	3,514	1,394	11,127	2,428	14,253
大腸	0	57	0	5,279	1,039	19,400	6,060	10,691	27,820	33,802
肝・肝内胆管	23	0	0	0	56	71	563	1,765	6,461	17,593
気管・肺	22	4	85	128	164	6,869	7,098	13,690	12,629	37,439
乳房	13	66	0	361	1,567	23,144	22,805	35,264	20,669	23,151
子宮	0	21	38	202	141	1,955	7,887	6,176	5,229	2,549
悪性リンパ腫	366	45	11	3,731	206	250	1,158	10,908	11,862	17,441
白血病	9,033	50	6,549	1,642	119	14,644	228	24,406	11,035	20,133
その他の悪性新生物	9,467	2,062	2,803	1,808	26,898	5,600	14,364	66,967	67,881	91,207
計	18,924	2,335	9,535	13,185	30,429	75,447	61,556	180,994	166,014	257,568



	男性			女性		
	罹患者数	分母	罹患率	罹患者数	分母	罹患率
胃	127	57,950	0.2%	83	35,409	0.2%
大腸	235	57,950	0.4%	122	35,409	0.3%
肝・肝内胆管	18	57,950	0.0%	12	35,409	0.0%
気管・肺	101	57,950	0.2%	59	35,409	0.2%
乳房	2	57,950	0.0%	358	35,409	1.0%
子宮	-	-	-	108	35,409	0.3%
悪性リンパ腫	35	57,950	0.1%	19	35,409	0.1%
白血病	33	57,950	0.1%	10	35,409	0.0%
その他の悪性新生物	304	57,950	0.5%	188	35,409	0.5%
計	855	57,950	1.5%	959	35,409	2.7%

※良性新生物(腫瘍)およびその他の新生物(腫瘍)は対象外



■ 罹患者数

	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
高血圧症	7	14	27	59	143	322	751	1,041	1,086	1,335
糖尿病	25	36	37	88	130	203	316	425	374	442
脂質異常症	17	37	57	79	174	229	361	424	480	527
肝機能障害	24	47	64	68	94	114	123	108	120	93
虚血性心疾患	11	14	12	12	22	35	47	74	92	115
脳血管疾患	10	8	15	11	23	37	73	117	134	139
その他の生活習慣病	17	11	25	36	80	118	163	172	148	142
計	111	167	237	353	666	1,058	1,834	2,361	2,434	2,793

■ 医療費(千円)

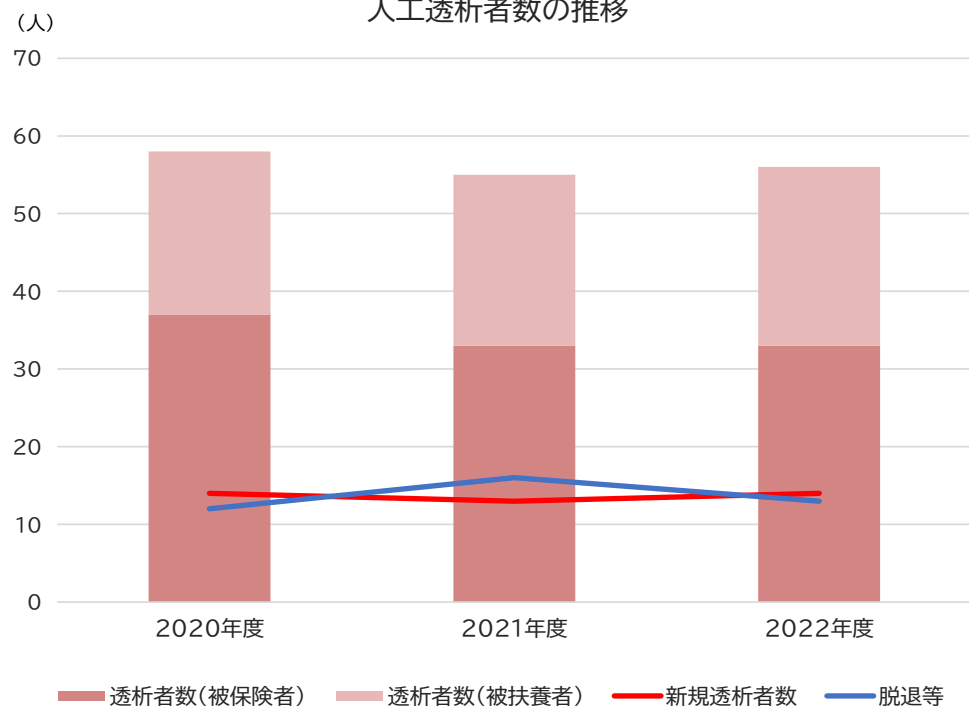
	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
高血圧症	71	583	1,961	4,419	8,734	22,793	69,024	97,045	125,903	144,678
糖尿病	5,149	9,310	4,404	13,906	24,665	33,089	61,319	78,712	84,879	101,735
脂質異常症	294	1,485	1,485	2,580	6,545	11,673	23,456	30,383	44,389	73,596
肝機能障害	942	1,033	1,636	2,053	3,670	4,597	5,623	5,844	12,690	11,862
虚血性心疾患	142	327	275	316	1,528	5,296	14,726	17,620	43,135	66,304
脳血管疾患	768	10,485	859	3,517	2,992	5,127	29,727	61,754	52,246	36,859
その他の生活習慣病	347	314	8,549	1,365	2,929	11,522	14,188	36,135	15,298	26,208
計	7,713	23,538	19,168	28,154	51,063	94,098	218,064	327,492	378,540	461,242

■ 1位:赤 ■ 2位:黄

	全体				被保険者				被扶養者			
	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者 (円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者 (円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者 (円)	受診者数
血管性及び詳細不明の認知症	328	4	54,677	6	328	5	54,677	6	0	0	-	0
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	9,914	106	108,941	91	8,663	144	113,991	76	1,250	38	83,351	15
統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	103,817	1,112	288,381	360	28,974	482	144,869	200	74,843	2,250	467,771	160
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	190,092	2,036	111,295	1,708	138,441	2,304	107,485	1,288	51,651	1,553	122,979	420
神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	145,132	1,555	66,422	2,185	81,365	1,354	56,898	1,430	63,767	1,917	84,460	755
知的障害<精神遅滞>	3,089	33	36,346	85	135	2	15,016	9	2,954	89	38,873	76
その他の精神及び行動の障害	114,355	1,225	100,135	1,142	27,622	460	103,453	267	86,733	2,608	99,123	875

※一人あたり医療費は加入者割を使用

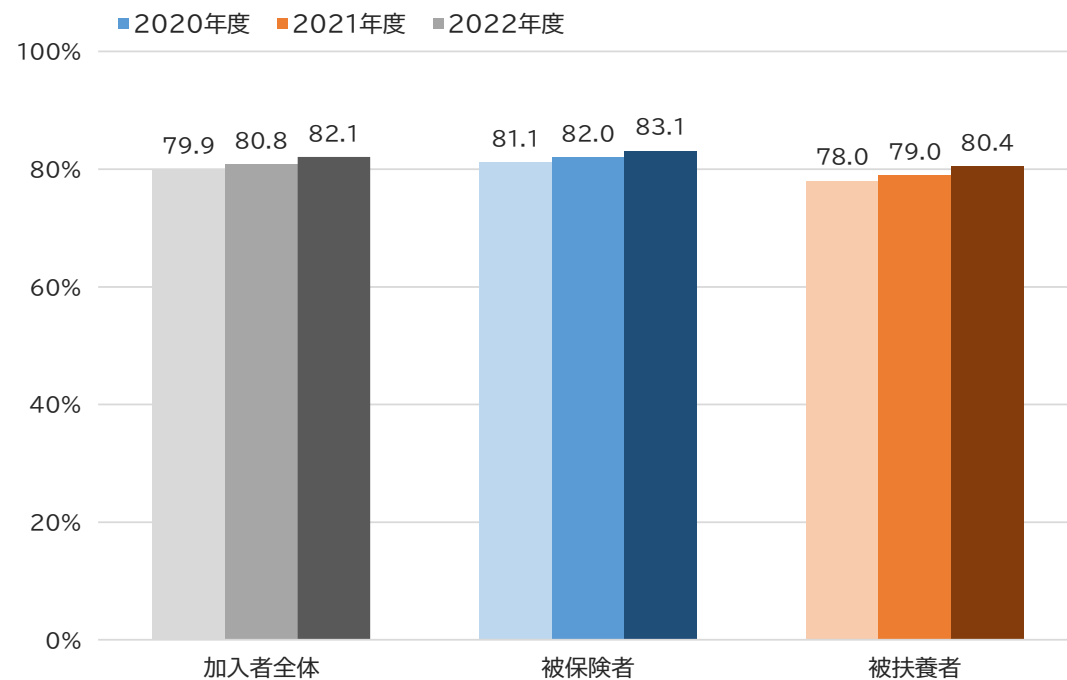
人工透析者数の推移



■ 内訳

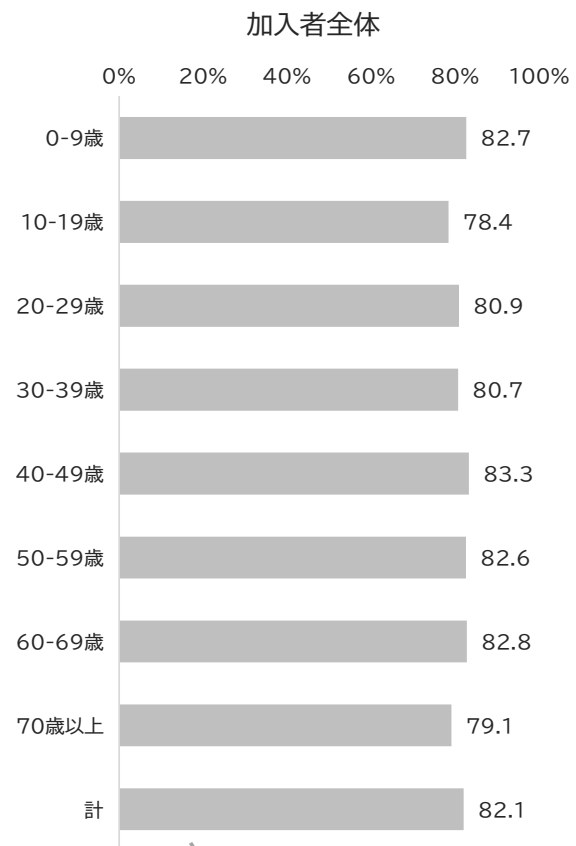
		2020年度	2021年度	2022年度
外来医療費	平均(千円)	3,826	4,004	3,677
透析者数	加入者計	58	55	56
	被保険者	37	33	33
	被扶養者	21	22	23
	新規	14	13	14
	脱退等	12	16	13

後発医薬品使用割合

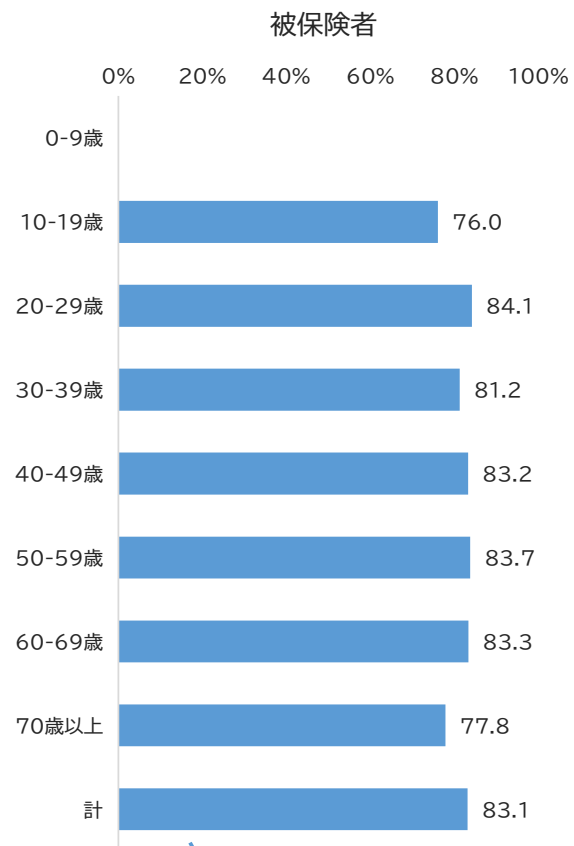


■ 内訳

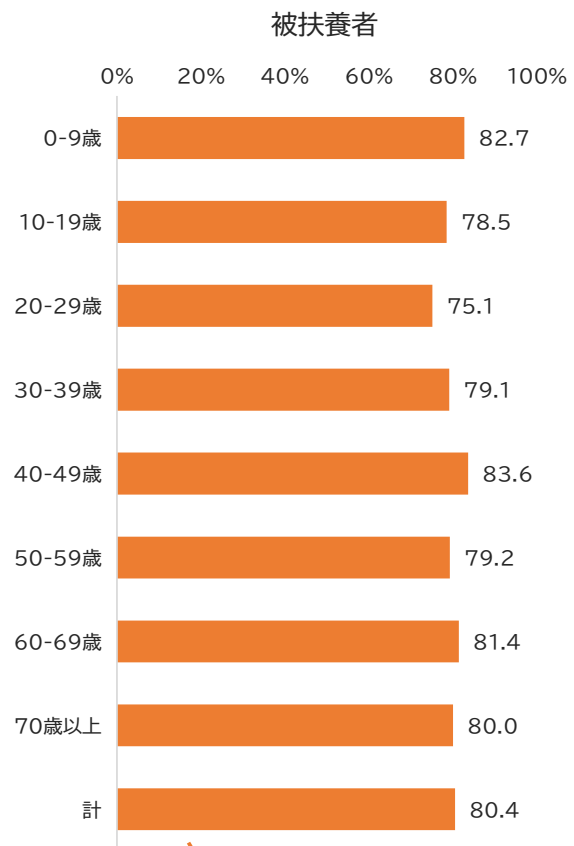
	2020年度	2021年度	2022年度
加入者全体	79.9%	80.8%	82.1%
被保険者	81.1%	82.0%	83.1%
被扶養者	78.0%	79.0%	80.4%



前期高齢者詳細(加入者)
65-74歳 80.9%

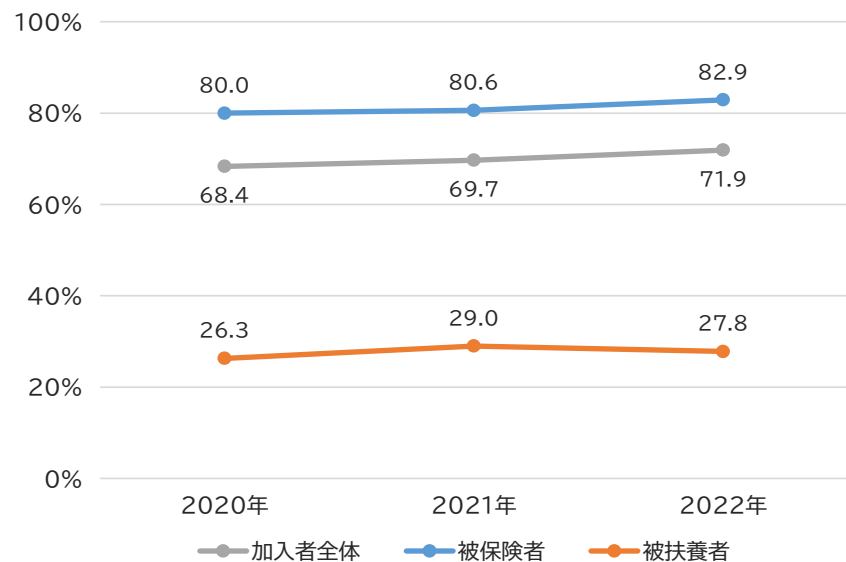


前期高齢者詳細(被保険者)
65-74歳 81.4%



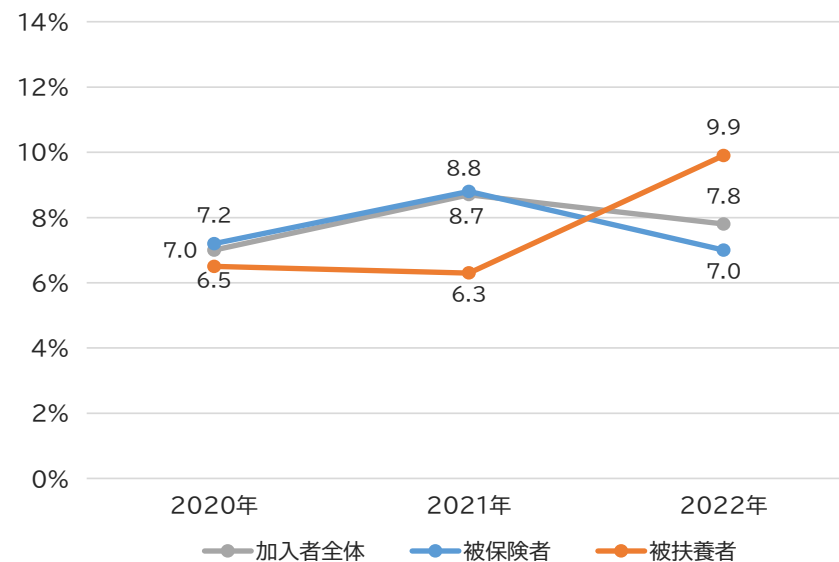
前期高齢者詳細(被扶養者)
65-74歳 80.3%

特定健診実施率



	2020年	2021年	2022年
加入者全体	68.4%	69.7%	71.9%
被保険者	80.0%	80.6%	82.9%
被扶養者	26.3%	29.0%	27.8%

特定保健指導実施率



	2020年	2021年	2022年
加入者全体	7.0%	8.7%	7.8%
被保険者	7.2%	8.8%	7.0%
被扶養者	6.5%	6.3%	9.9%

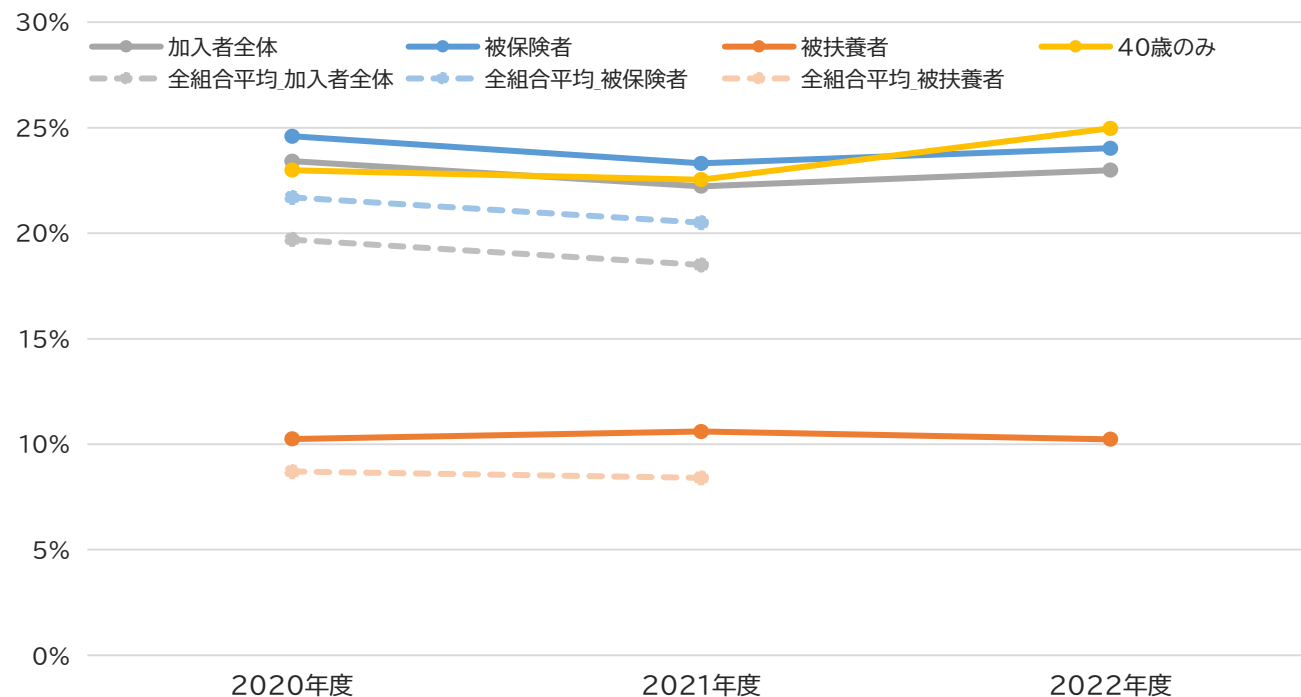
■ 肥満解消率(2021-2022年度)

分母	分子	割合
7,822	771	9.9%

※肥満解消率:特定健診の2年連続受診者で、1年目に服薬の有無を除いて腹囲・BMIが一定の基準以上の者のうち、2年目は服薬の有無を除いて腹囲・BMIが一定の基準未満の者の割合。自組合での特定健診対象者除外については考慮していない。

シ_特定保健指導対象者割合

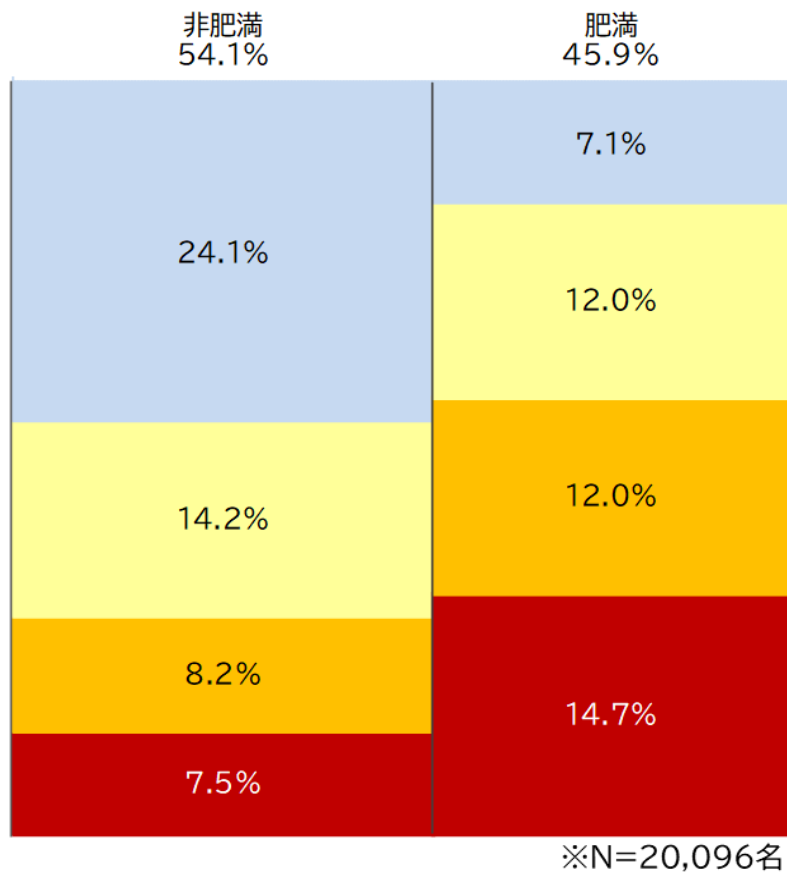
特定保健指導対象者割合



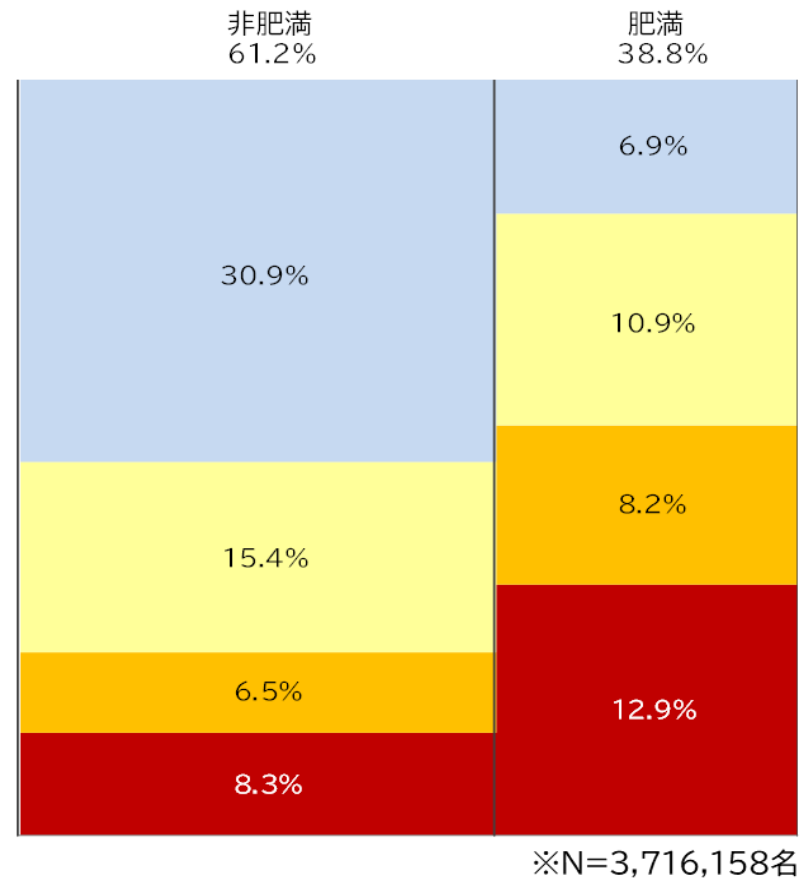
	特定保健指導対象者数			特定健診受診者数			対象者割合			全組合平均	
	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度
加入者全体	5,117	4,980	4,998	21,853	22,408	21,739	23.4%	22.2%	23.0%	19.7%	18.5%
被保険者	4,933	4,777	4,830	20,058	20,493	20,098	24.6%	23.3%	24.0%	21.7%	20.5%
被扶養者	184	203	168	1,795	1,915	1,641	10.3%	10.6%	10.2%	8.7%	8.4%
40歳のみ	223	220	236	970	976	945	23.0%	22.5%	25.0%	-	-

※全組合平均: 2022年度版(2021年度実績分)健康スコアリングレポート参考資料より

【自組合・40代以上】



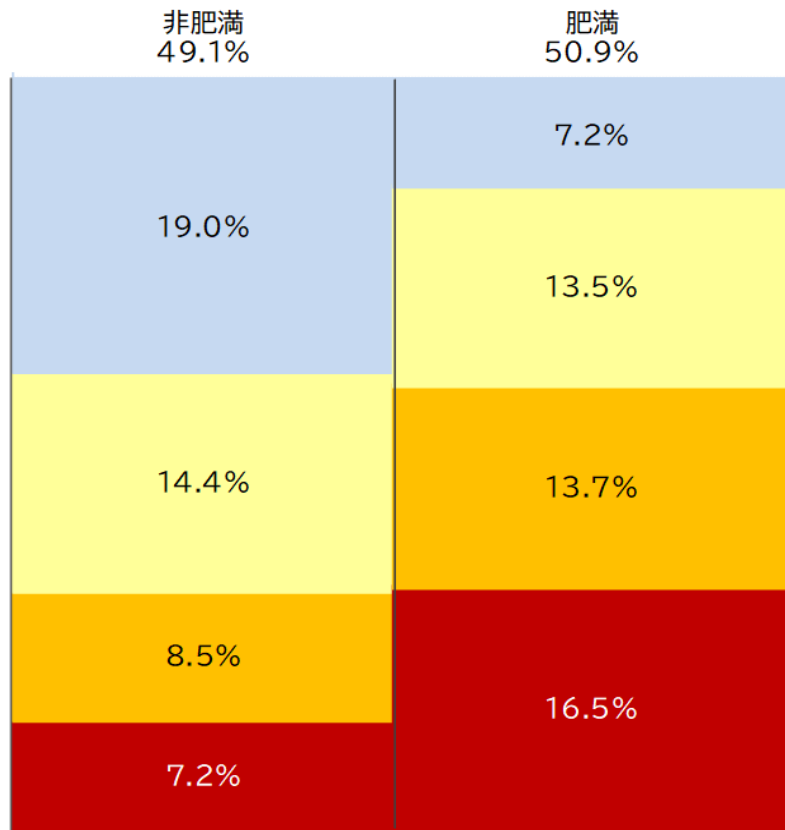
【健保連】



■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値 ■:服薬者

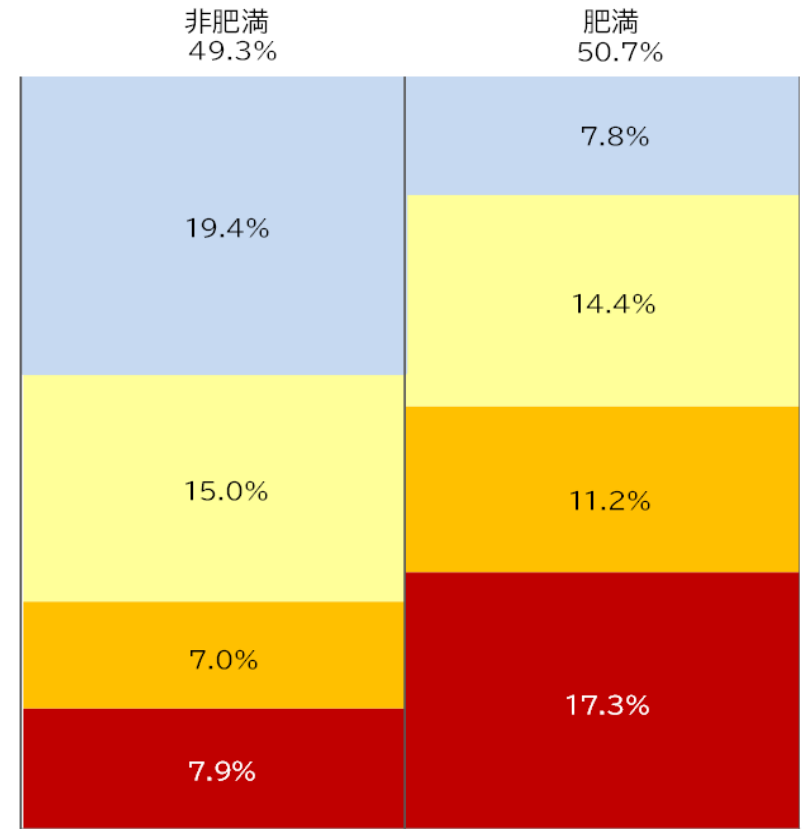
※健保連:令和4年9月健保連公表「令和2年度 健診検査値からみた加入者(40-74歳)の健康状態に関する調査」より

【男性・40代以上】



※N=15,922名

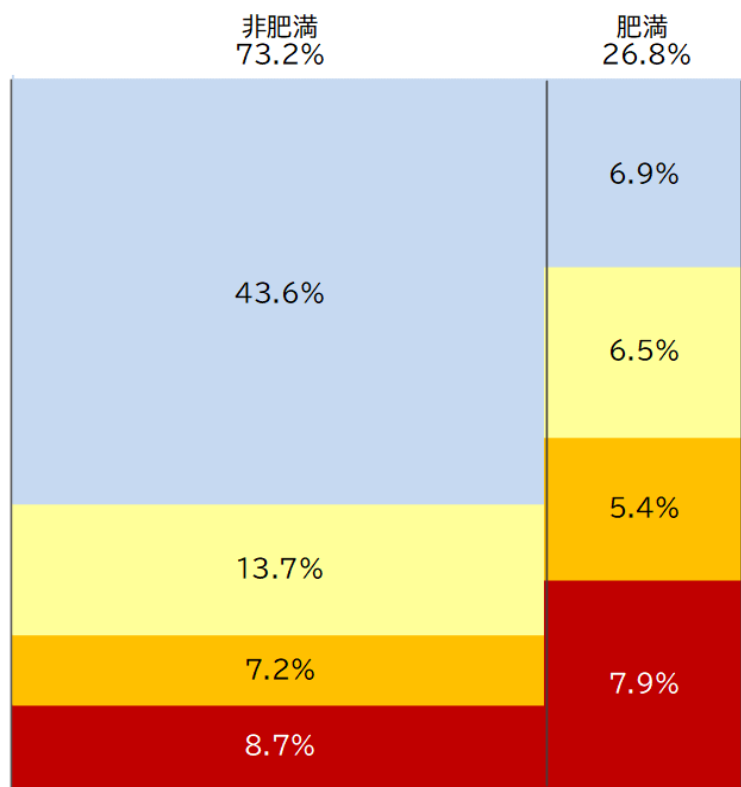
【健保連】



※N=2,264,567名

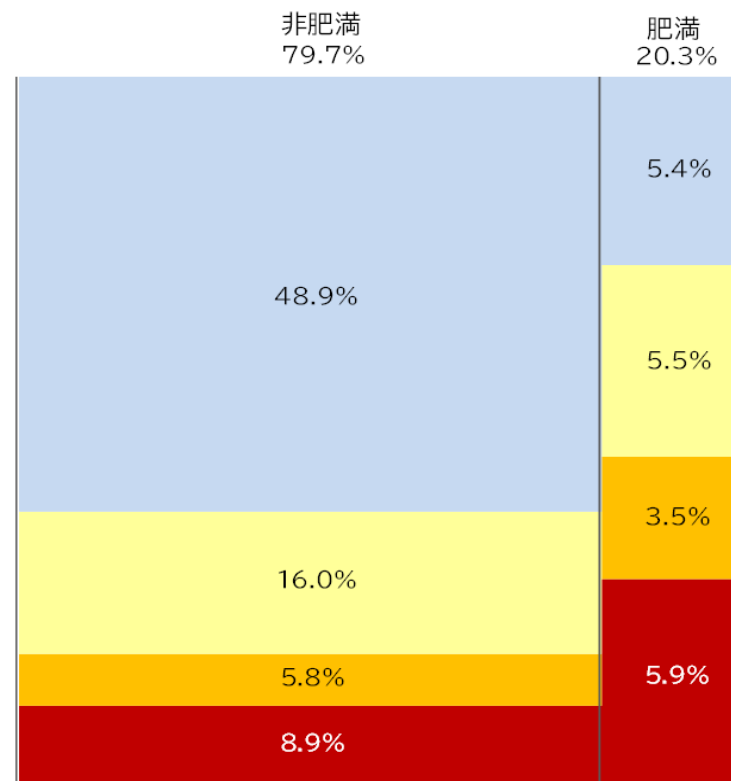
■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値 ■:服薬者

【女性・40代以上】



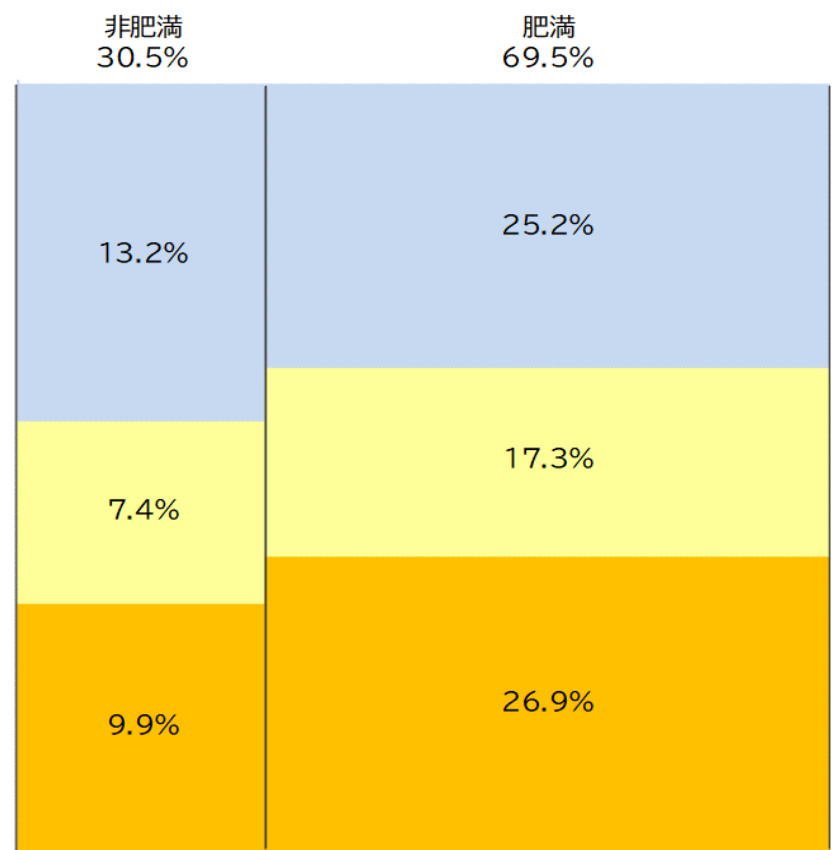
※N=4,174名

【健保連】



※N=1,451,591名

■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値 ■:服薬者



※N=3,223名

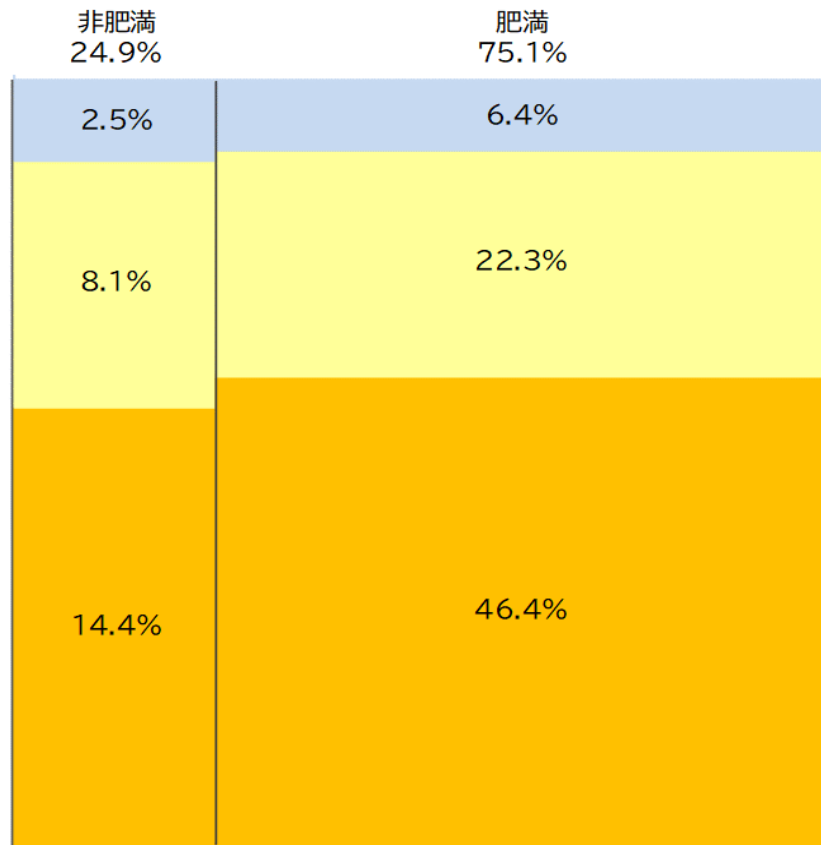
■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値

<各階層の内訳詳細>

	非肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	427名	331名	96名
保健指導値	237名	181名	56名
受診勧奨値	320名	263名	57名
計	984名	775名	209名

	肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	812名	730名	82名
保健指導値	559名	485名	74名
受診勧奨値	868名	774名	94名
計	2,239名	1,989名	250名

	非肥満・肥満計		
	全体	男性	女性
基準範囲内	1,239名	1,061名	178名
保健指導値	796名	666名	130名
受診勧奨値	1,188名	1,037名	151名
計	3,223名	2,764名	459名



※N=1,015名

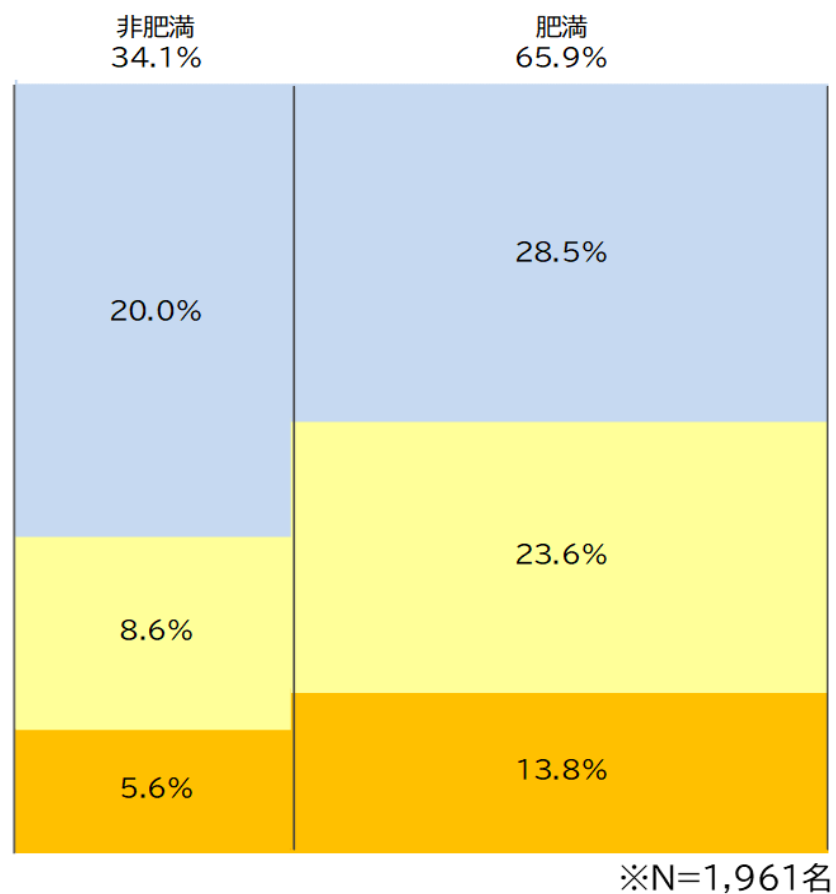
■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値

<各階層の内訳詳細>

	非肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	25名	23名	2名
保健指導値	82名	63名	19名
受診勧奨値	146名	131名	15名
計	253名	217名	36名

	肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	65名	58名	7名
保健指導値	226名	209名	17名
受診勧奨値	471名	427名	44名
計	762名	694名	68名

	非肥満・肥満計		
	全体	男性	女性
基準範囲内	90名	81名	9名
保健指導値	308名	272名	36名
受診勧奨値	617名	558名	59名
計	1,015名	911名	104名



■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値

<各階層の内訳詳細>

	非肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	392名	266名	126名
保健指導値	168名	131名	37名
受診勧奨値	109名	80名	29名
計	669名	477名	192名

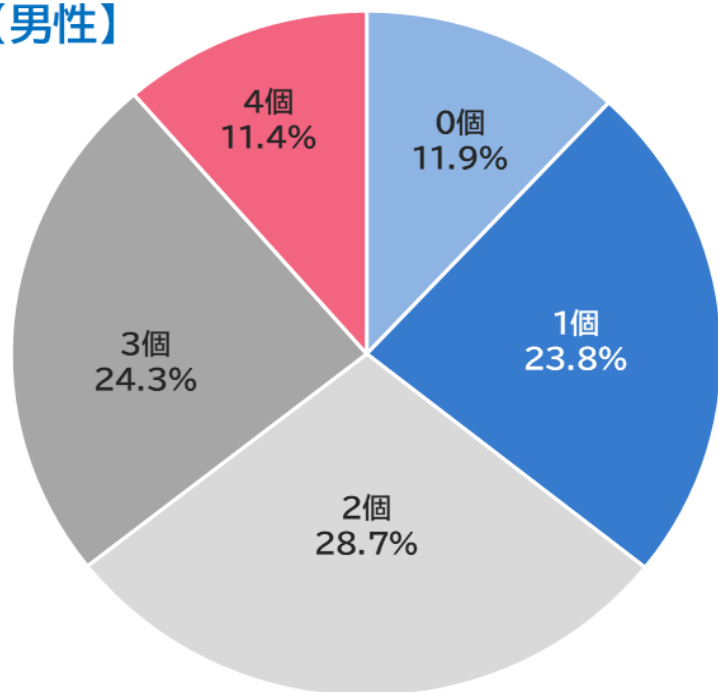
	肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	559名	481名	78名
保健指導値	462名	425名	37名
受診勧奨値	271名	241名	30名
計	1,292名	1,147名	145名

	非肥満・肥満計		
	全体	男性	女性
基準範囲内	951名	747名	204名
保健指導値	630名	556名	74名
受診勧奨値	380名	321名	59名
計	1,961名	1,624名	337名

男女別に、肥満・血圧・血糖・脂質のリスク保有数の割合をしめした。

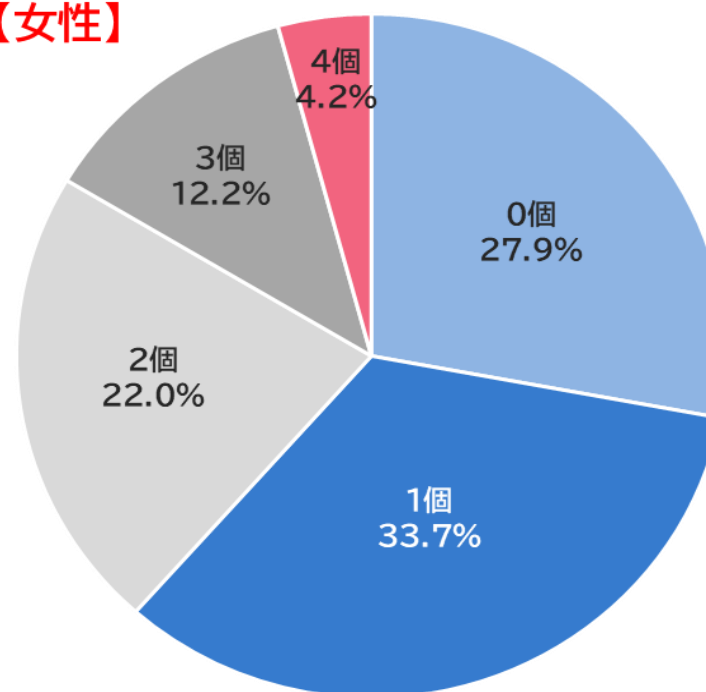
※上記すべてのリスク判定可能者を対象

【男性】



	該当者数	割合
0個	1,894名	11.9%
1個	3,781名	23.8%
2個	4,562名	28.7%
3個	3,857名	24.3%
4個	1,805名	11.4%
計	15,899名	100.0%

【女性】

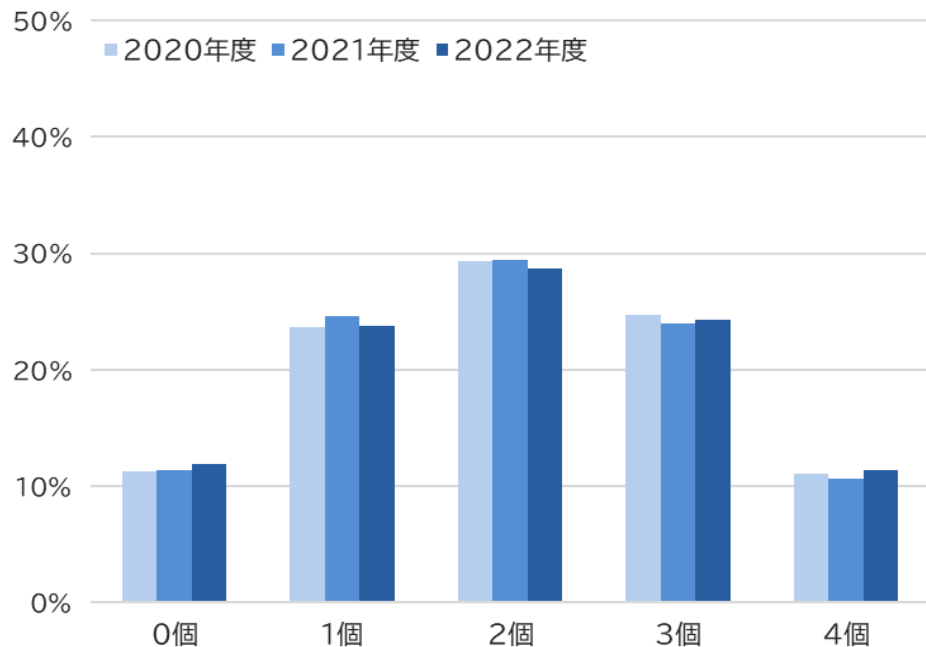


	該当者数	割合
0個	1,162名	27.9%
1個	1,402名	33.7%
2個	917名	22.0%
3個	507名	12.2%
4個	177名	4.2%
計	4,165名	100.0%

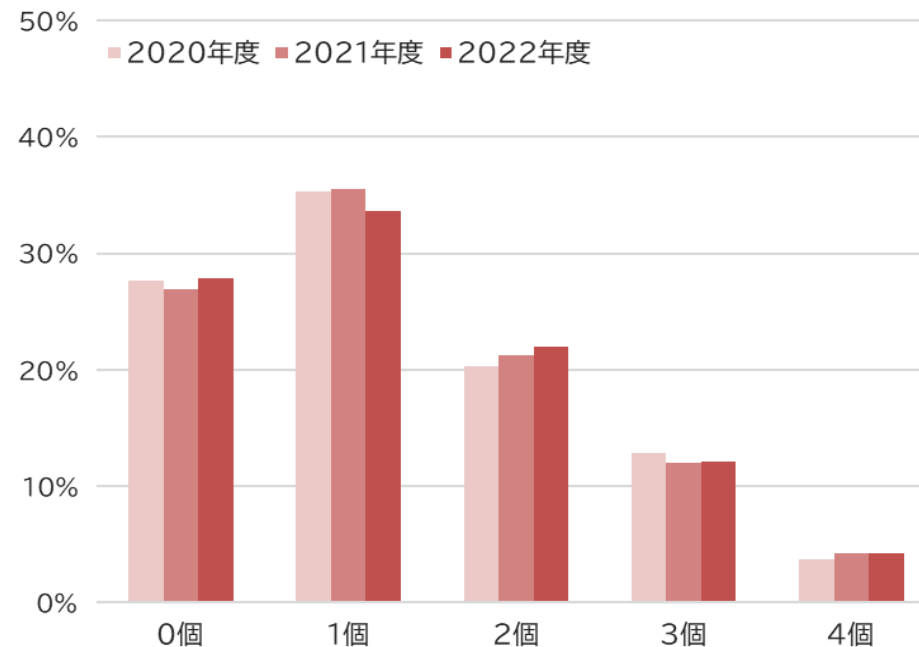
男女別に、肥満・血圧・血糖・脂質のリスク保有数の割合について、経年推移をしめた。

※上記すべてのリスク判定可能者を対象

保有数ごとの推移(男性)

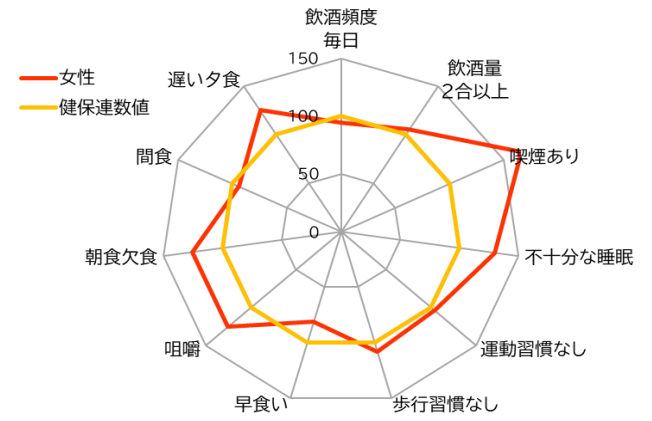
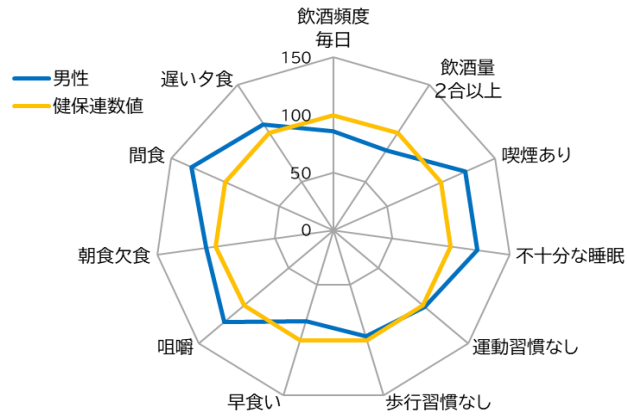
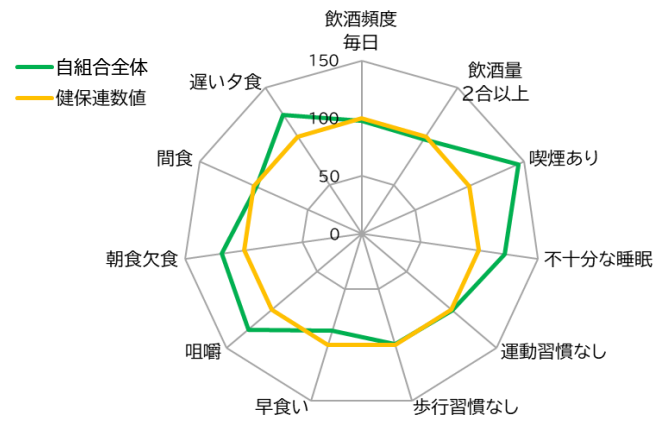


保有数ごとの推移(女性)



	2020年度	2021年度	2022年度
0個	11.2%	11.4%	11.9%
1個	23.7%	24.6%	23.8%
2個	29.3%	29.4%	28.7%
3個	24.7%	24.0%	24.3%
4個	11.1%	10.6%	11.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%

	2020年度	2021年度	2022年度
0個	27.7%	26.9%	27.9%
1個	35.4%	35.5%	33.7%
2個	20.4%	21.2%	22.0%
3個	12.8%	12.1%	12.2%
4個	3.7%	4.3%	4.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%



※健保連数値を100として自組合数値を指数化

健保連数値×1.3超=悪い

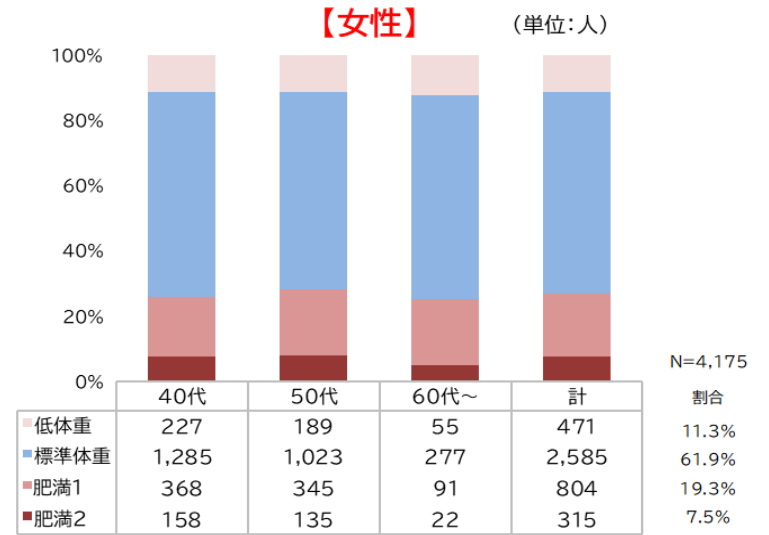
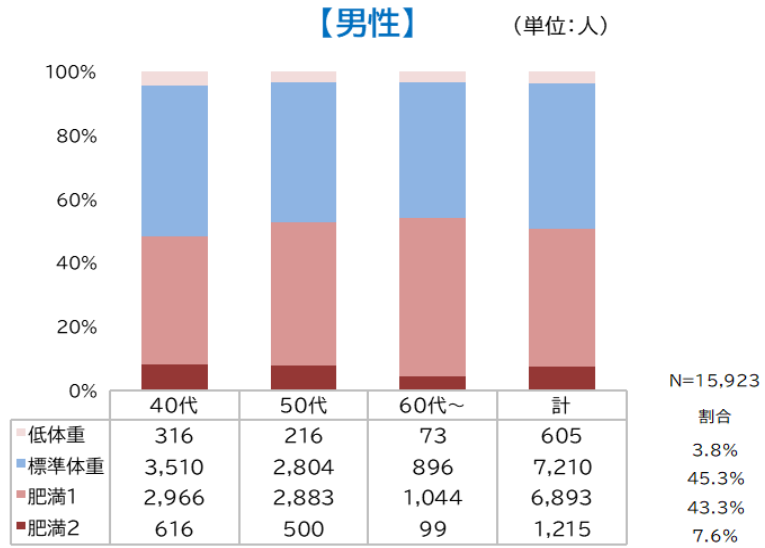
健保連数値×0.7未満=良い

■ 年代別

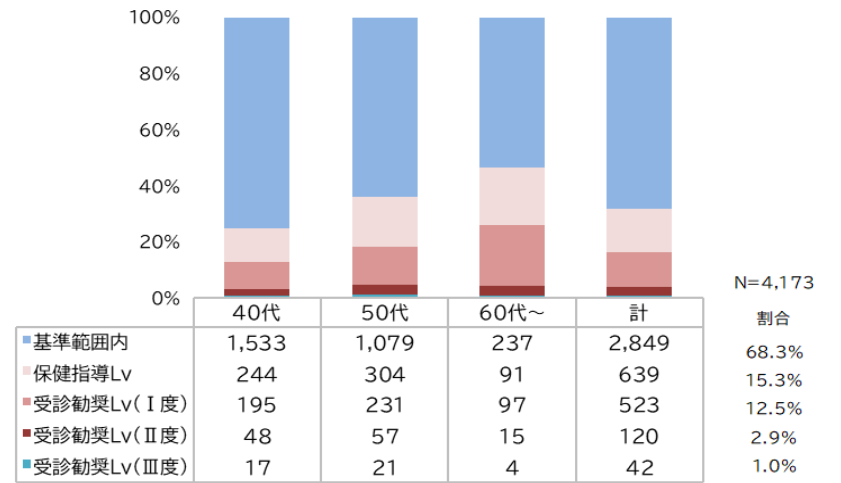
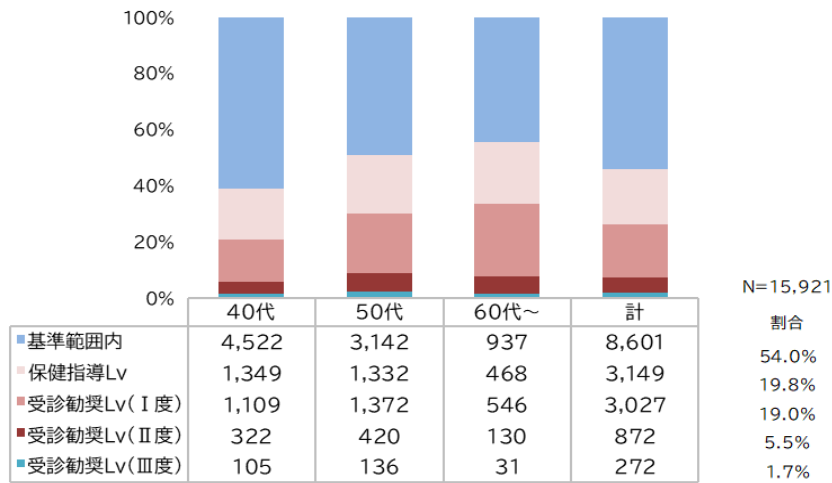
		飲酒		喫煙	睡眠	活動量		食事				
		毎日	2合以上	喫煙あり	不十分な睡眠	運動習慣なし	歩行習慣なし	早食い	咀嚼	朝食欠食	間食	遅い夕食
全体	40代	22.3%	17.0%	37.0%	43.3%	77.5%	57.5%	30.4%	15.9%	28.8%	21.2%	41.5%
	50代	29.7%	17.9%	35.7%	43.2%	77.5%	62.6%	27.8%	21.0%	22.5%	17.4%	38.0%
	60代以上	35.4%	19.5%	29.6%	39.3%	74.7%	65.0%	24.3%	26.5%	12.3%	12.8%	26.0%
	計	27.0%	17.7%	35.5%	42.7%	77.1%	60.5%	28.6%	19.3%	24.2%	18.6%	38.1%
健保連数値		27.6%	18.3%	24.5%	35.1%	76.7%	61.1%	32.8%	15.3%	20.3%	19.1%	31.1%
40代以上		27.0%	17.7%	35.5%	42.7%	77.1%	60.5%	28.6%	19.3%	24.2%	18.6%	38.1%
男性	40代	24.5%	19.1%	41.7%	42.3%	75.4%	55.3%	32.9%	16.3%	30.6%	18.4%	45.2%
	50代	33.7%	20.2%	40.4%	41.6%	75.6%	61.9%	29.4%	21.7%	23.8%	14.7%	41.5%
	60代以上	39.4%	22.0%	32.7%	37.0%	73.7%	65.7%	24.6%	27.4%	12.7%	10.7%	28.0%
	計	30.2%	20.0%	40.0%	41.3%	75.3%	59.3%	30.4%	20.0%	25.5%	15.9%	41.5%
健保連数値		35.1%	24.2%	32.8%	33.8%	73.9%	61.7%	36.8%	16.4%	23.5%	12.1%	37.9%
40代以上		30.2%	20.0%	40.0%	41.3%	75.3%	59.3%	30.4%	20.0%	25.5%	15.9%	41.5%
女性	40代	14.6%	8.8%	19.8%	46.9%	85.2%	65.5%	21.5%	14.4%	22.2%	31.6%	27.9%
	50代	14.6%	7.6%	18.1%	49.2%	84.5%	65.0%	21.5%	18.3%	17.6%	27.5%	24.4%
	60代以上	16.6%	4.5%	15.1%	50.2%	79.8%	61.8%	22.6%	22.1%	10.6%	22.8%	16.1%
	計	14.8%	7.9%	18.6%	48.2%	84.3%	64.9%	21.7%	16.8%	19.1%	29.0%	25.2%
健保連数値		15.7%	7.5%	11.2%	37.1%	81.1%	60.1%	26.6%	13.4%	15.2%	30.8%	20.2%
40代以上		14.8%	7.9%	18.6%	48.2%	84.3%	64.9%	21.7%	16.8%	19.1%	29.0%	25.2%
有効回答数		19,726人	15,166人	20,098人	20,027人	20,037人	20,074人	20,069人	19,980人	20,040人	19,981人	20,037人

※健保連数値: 令和4年8月「令和2年度 特定健診の「問診回答」に関する調査」より

肥満



血圧



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	イ	<p>【被保険者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 <p>【被扶養者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。 	➔	<p>(呼吸器系はコロナ影響等も考慮)</p> <p>新生物についてはがん検診の受診率向上および精密検査フォロー体制の構築に加え、検診受診勧奨（周知・セルフチェック等）に取り組む。</p> <p>内分泌、循環器系については、特定健診の受診率向上および特定保健指導の実施率向上と糖尿病重症化予防にも取り組む。</p>	✓
2	ウ	<ul style="list-style-type: none"> 加齢とともに1人当たり医療費は増加 若年層は呼吸器系が高いが、40歳以降、「循環器系※」「新生物」「内分泌」が上位を占める。 <p>※循環器系は高血圧とそれに起因する心疾患、脳血管疾患が多くを占めている</p> <ul style="list-style-type: none"> 性別では、男性は40歳以降「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。女性は40歳以降「新生物」「循環器系」「内分泌」の順で高い。 	➔	いずれも生活習慣病であり、特定健診・特定保健指導の実施率向上に取り組むとともに、糖尿病重症化予防にも取り組む	✓
3	エ, オ	<ul style="list-style-type: none"> 35歳以降加齢に応じて罹患者数が増加。特に乳房は40歳以降多くを占める。 医療費も35歳以降増加。特に乳房は60歳まで多くを占める。 部位別罹患者率は男性は①大腸、②胃、③肺、女性は①乳房、②大腸、③子宮の順に高い。 	➔	がん検診の受診率向上および精密検査フォロー体制の構築に加え、検診受診勧奨（周知・セルフチェック等）に取り組む。	
4	カ	<ul style="list-style-type: none"> 35歳以降、生活習慣病の罹患者数が加齢とともに増加。疾患別では高血圧（循環器系）、糖尿病（内分泌）、脂質異常（内分泌）が多い。特に30代→40代の有病率の増加率が高い（30代比で135.4%） 医療費総額も40歳以降高血圧、糖尿病などが加齢とともに増加。 	➔	いずれも生活習慣病であり、特定健診・特定保健指導の実施率向上に取り組むとともに、糖尿病重症化予防にも取り組む	✓
5	キ	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者は気分障害、神経症性障害・ストレス関連障害が医療費、受診者数とも多い（主に職場のストレスを原因とするもの）。 	➔	職場や業務上のストレスを主な原因とする疾患が多くを占めていることから、事業主と連携したメンタル対策が必要。	
6	ク	<ul style="list-style-type: none"> 1人あたり外来医療費は年間約3,600～4,000千円前後と高額。 透析者数総計はほぼ横ばい。新規透析者・脱出も横ばい。 いずれも「高止まり」の傾向 <p>→(前回レポート引用) 第2期時の透析医療費（透析者数）：2014年1,145千円（42人）、2015年3,603千円（50人）、2016年3,656千円（55人）</p>	➔	人工透析は患者のQOLを著しく悪化させるとともに大きな医療費負担を発生させるため新規発生の予防が特に重要である。	
7	ケ, コ	<ul style="list-style-type: none"> 年々使用割合は増加し、2022年度で基準値（80%）を達成。 被保険者に比べ被扶養者での使用割合が約3%弱低い 被保険者・被扶養者とも若年層での使用割合が基準値を大きく下回っている。 前期高齢者も基準値を上回っているが、うち被扶養者は基準値をкаろうじてクリアしている状況。 	➔	後発医薬品の利用促進は継続的な医療費適正化の効果が期待できるため、引続き機関誌等による広報等の活動を行う。	

8	サ, シ	<p>特定健診実施率は71.9%。全保険者目標値70%は上回っているものの、総合評価指標の目標値76.5%は下回っている。</p> <p>特定保健指導の実施率は7.8%で、総合健保の基準は5%以上は上回っているが、総合評価指標の目標値15%とはかけ離れている状況。</p>	➔	<p>現状、全保険者目標値等をギリギリ上回っている状況でもあり、保険者毎の目標値が上昇することも予想されることから特定健診・特定保健指導のさらなる実施率向上に取り組む</p>	✓
9	ス, セ, ソ, タ, チ, ツ	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の男性では健保連数値と比べて肥満割合が+0.2%、服薬者割合は-1.5%。 ・40歳以上の女性では健保連数値と比べて肥満割合が+5.5%、服薬者割合は+1.8% <p>※女性の肥満割合が高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女とも肥満率は横ばい ・服薬移行してもコントロールできていない層が一定いる 	➔	<p>予備群に対するポピュレーションアプローチや、服薬移行後のコントロール状況の確認、事業主、事業主の産業医等との連携を含めたコラボヘルス対策を強化する。</p>	✓
10	テ, ト	<ul style="list-style-type: none"> ・男性はリスク4：11.4%、リスク3：24.3%、リスク2：28.7% ・女性はリスク4：4.2%、リスク3：12.2%、リスク2：22.0% ・男女いずれも経年で大きな動きはない（ほぼ横ばい） ・リスク保有4個の方の割合は、やや多い(11.4%) 	➔	<p>・事業主、事業主の産業医等との連携を含めたコラボヘルス対策を強化する。</p>	
11	ヌ	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ度血圧(男=1.7%/女=1.0%)は要注意(心疾患・脳疾患予備群) 	➔	<p>・事業主、事業主の産業医等との連携を含めたコラボヘルス対策を強化する。</p>	✓
12	ナ, ニ	<ul style="list-style-type: none"> ・男性では健保連数値と比べて「喫煙」「睡眠」「咀嚼」「朝食欠食」「間食」「遅い夕食」が悪い傾向、「飲酒頻度」「酒量」は良い傾向。 ・女性では健保連数値と比べて「喫煙」「睡眠」「咀嚼」「朝食欠食」「遅い夕食」が悪い傾向、「早食い」は良い傾向。 <p>※特に女性の喫煙割合が悪い傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女とも高い喫煙率 ・よく噛まない(=血糖値は上がりやすい)が多い 	➔	<p>・生活習慣改善のための対策および特定健診、特定保健指導の実施率向上を図る。</p>	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	約210の事業所数であるが、全国各地に工場・営業所を構えているため、各事業所の保健事業に対する取り組みを把握するのが難しい	➔	一律的な対応をするのではなく、個別の状況に対応した事業を検討する
2	健保組合に専門職が不在	➔	補完できるような事業者を選定し、委託する。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	健診後のフォローが特定保健指導のみに限られていて、毎年10%程度の指導脱落者が発生	➔	特定保健指導だけでなく、要療養者対象者に受診勧奨を行うなど生活習慣病の重症化を防ぐ対策を検討する。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

健康診断・特定保健指導実施率を向上させること
生活習慣病への早期対策・早期治療を実施することで医療費の適正化を図る

事業全体の目標

健診受診率・特定保健指導終了率の向上に向けた展開を行う。
また、特定保健指導だけでなく、健診結果数値によっては受診勧奨通知も個人に送付するなど、疾病の予防・早期対策を促す。

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	事業所訪問
予算措置なし	健康企業宣言

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	広報誌の発行
保健指導宣伝	ホームページの運営

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ジェネリック利用促進通知
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被保険者）
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被扶養者）
疾病予防	生活習慣病予防健診A
疾病予防	生活習慣病予防検診A2
疾病予防	生活習慣病予防健診B
疾病予防	ハイリスクアプローチ
体育奨励	夏季プール施設契約
その他	契約保養施設
その他	共同保健指導宣伝
予算措置なし	医療費諸統計の作成
予算措置なし	医療事務研究会
予算措置なし	フィットネスクラブ法人契約

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
アウトプット指標													アウトカム指標											
職場環境の整備																								
予算措置なし	1	既存	事業所訪問	一部の事業所	男女	0～(上限なし)	その他	1	ク,ケ	-	ア	-	医療費が高い、特定健康診査・特定保健指導実施率が低い事業所などを抽出し、事務担当者との会話することで保健事業の効率的実施に役立たせる。	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	特定健康診査・特定保健指導の実施率向上について理解を深めてもらい、事業所と健保組合にて方策を考える。健診結果における高リスク者に対し、事業所・健保組合での双方向アプローチを探る(コラボヘルス)	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	訪問事業所数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：3件 令和7年度：3件 令和8年度：3件 令和9年度：3件 令和10年度：3件 令和11年度：3件)-													(アウトカムは設定されていません)										
	1	既存	健康企業宣言	全て	男性	16～(上限なし)	その他	3	ス	-	ア	-	健康企業宣言の参加促進案内を送付。また、事業所訪問の際に説明をし、参加を促進させる。	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	健康企業宣言への取り組みを通して、事業所からの従業員に対する健康管理意識を高めることで、加入員の健康維持・増進に役立て、ひいては医療費の適正化を図る。その他、認定審査における添付資料等で事業所ごとの健康に関する意識や熱量が見て取れる。	該当なし
	事業所への通知(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-													健康企業宣言達成社数(【実績値】 0件 【目標値】 令和6年度：2件 令和7年度：2件 令和8年度：2件 令和9年度：2件 令和10年度：2件 令和11年度：2件)-										
健康企業宣言参加社(【実績値】 1件 【目標値】 令和6年度：2件 令和7年度：2件 令和8年度：2件 令和9年度：2件 令和10年度：2件 令和11年度：2件)-																								
加入者への意識づけ																								
保健指導宣伝	5	既存	広報誌の発行	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	-	シ	-	検認、健診の案内、健康管理(食中毒)など、事業に関するタイムリーな記事を掲載。	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	情報発信、健康意識の向上 マイナ保険証の利用促進	該当なし
	発行回数(【実績値】 4回 【目標値】 令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)事業所経由で配布													(アウトカムは設定されていません)										
	5,8	既存	ホームページの運営	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	健康保険制度変更や情報をタイムリーに掲載する。広報誌にもホームページの案内を掲載し、認知向上をはかる。	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	前年度を踏襲	-	健康保険制度の理解を深めてもらうとともに、健診補助をはじめとする保健事業の利用方法を案内する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	広報誌記事掲載(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													アクセス回数(【実績値】 9,500回 【目標値】 令和6年度：10,000回 令和7年度：10,000回 令和8年度：10,000回 令和9年度：10,000回 令和10年度：10,000回 令和11年度：10,000回)-										
個別の事業																								
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員,基準該当者	1	ウ,ス	-	ア,カ,ク	-	生活習慣病予防健診Bのほか、生活習慣病予防健診C1・C3、人間ドックと併せて実施。	-	318,446	-	-	-	-	-	-	特定健診の受診率向上、加入者の健康維持	【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。	
	広報掲載(【実績値】 3回 【目標値】 令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)ホームページ、広報誌にて補助について案内													実施率(【実績値】 43.1% 【目標値】 令和6年度：78% 令和7年度：80% 令和8年度：81% 令和9年度：83% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)令和4年度対象者35908人										
	事業所への通知(【実績値】 0回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)年度末に次年度の特定健康診査対象者一覧を事業所に送付し、事務担当者から被保険者経由で対象者に通知する。													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 17.8% 【目標値】 令和6年度：17.3% 令和7年度：16.8% 令和8年度：16.3% 令和9年度：15.8% 令和10年度：15.3% 令和11年度：14.8%)健保連イントラネット(2022年度)14.8%										
	4,793																							

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連																		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度																	
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	加入者全員,基準該当者	1	ス	メタボリックシンドロームの減少を目的に実施。対象者についてはリストを事業所へ送付し、実施までの運用を事業所が主体で実施。	ア,カ,ク	-	既存の東振協との実施契約に加え、事業所の希望があれば個別での実施契約を締結することで利便性と実施率向上を図る。事業所訪問の際には指導実施協力を依頼する。	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善	<ul style="list-style-type: none"> 【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。 ・加齢とともに1人当たり医療費は増加 ・若年層は呼吸器系が高いが、40歳以降、「循環器系※」「新生物」「内分泌」が上位を占める。 ※循環器系は高血圧とそれに起因する心疾患、脳血管疾患が多くを占めている ・性別では、男性は40歳以降「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。女性は40歳以降「新生物」「循環器系」「内分泌」の順で高い。 ・35歳以降、生活習慣病の罹患率が加齢とともに増加。疾患別では高血圧(循環器系)、糖尿病(内分泌)、脂質異常(内分泌)が多い。特に30代→40代の有病率の増加率が高い(30代比で135.4%) ・医療費総額も40歳以降高血圧、糖尿病などが加齢とともに増加。 																	
																				指導対象通知【実績値】8回 【目標値】令和6年度：8回 令和7年度：8回 令和8年度：8回 令和9年度：8回 令和10年度：8回 令和11年度：8回)事業所経由で対象者全員に申込書を送付 原則奇数月に送付。婦人生活病予防健診実施期間中は毎月送付													実施率【実績値】3.8% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：14% 令和8年度：18% 令和9年度：22% 令和10年度：26% 令和11年度：30%)保健指導終了率				
																				記事掲載【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)広報誌に記事を掲載して理解を深めてもらう													特定保健指導対象者割合【実績値】22.7% 【目標値】令和6年度：22% 令和7年度：21.5% 令和8年度：22% 令和9年度：21.5% 令和10年度：20% 令和11年度：19.5%)-				
																				-													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率【実績値】14.9% 【目標値】令和6年度：16% 令和7年度：17% 令和8年度：18% 令和9年度：19% 令和10年度：20% 令和11年度：21%)-				
保健指導宣伝	7	既存	ジェネリック利用促進通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	キ,ケ	ジェネリック利用促進通知を効果が見込める対象者に送付。	シ	-	1月発送	1月発送	1月発送	1月発送	1月発送	1月発送	薬剤費医療費の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・35歳以降加齢に応じて罹患率が増加。特に乳房は40歳以降多くを占める。 ・医療費も35歳以降増加。特に乳房は60歳まで多くを占める。 ・部位別罹患率は男性は①大腸、②胃、③肺、女性は①乳房、②大腸、③子宮の順に高い。 																	
																				発送対象【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)65歳未満 1か月で500円以上の軽減見込がある者 65歳以上 全件対象													(アウトカムは設定されていません)				
																				4	既存	医療費通知	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員	1	ケ	1年に1回、医療費通知を送付	シ	-	1月末発送	1月末発送	1月末発送	1月末発送	1月末発送	1月末発送
対象者への発送【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)全対象者に通知を送付 1～12月分													加入者への意識向上が目的であるため (アウトカムは設定されていません)																								
													149,385																								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連												
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																			
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度														
アウトプット指標												アウトカム指標																				
疾病予防	3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ケ	直接契約の健診機関または東振協との包括契約機関を利用した場合に加え、契約健診機関以外で受診の場合にも一部補助金を支給している。	ア,カ,ク	-	通年実施。生活習慣病の上位互換としての位置づけ	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療	【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。												
	広報誌での案内(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)対象者への制度周知												実施人数(【実績値】6,200人 【目標値】令和6年度：6,300人 令和7年度：6,400人 令和8年度：6,500人 令和9年度：6,600人 令和10年度：6,700人 令和11年度：6,800人)巡回健診での生活習慣病予防検診Bを利用する人数が多い。 R6年度対象者 約44500人																			
	3	既存(法定)	婦人生活習慣病予防健診(被保険者)	全て	女性	35～74	被保険者,基準該当者	1	ケ	健康保険担当者を通した申し込みに加え、インターネット申込でも受け付け	ア,カ,ク	-	東振協との共同事業10～2月に実施40歳以上については特定健診と併用	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	健康状態の確認、婦人科疾患の早期発見・早期治療	【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。												
広報回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)ホームページ、広報誌に掲載												受診率(【実績値】17.5% 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：18.5% 令和8年度：19% 令和9年度：19.5% 令和10年度：20% 令和11年度：21.5%)-																				
受診者数(【実績値】1,400人 【目標値】令和6年度：1,500人 令和7年度：1,600人 令和8年度：1,700人 令和9年度：1,800人 令和10年度：1,900人 令和11年度：2,000人)事業主健診として実施される生活習慣病予防健診の代わりに利用されることが多い。40歳以上には特定健診と併用する。 R6年度 対象者 約8000人																																
3	既存	婦人生活習慣病予防健診(被扶養者)	全て	女性	16～74	被扶養者,基準該当者	1	ケ	健康保険担当者を通した申し込みに加え、インターネット申込でも受け付け	ア,カ,ク	-	東振協との共同事業4～7月に実施40歳以上については特定健診と併用	35,524	-	-	-	-	-	被扶養配偶者を対象とした健康状態の確認、婦人科疾患の早期発見・早期治療	【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。												
													健診案内送付(【実績値】110件 【目標値】令和6年度：120件 令和7年度：120件 令和8年度：120件 令和9年度：120件 令和10年度：120件 令和11年度：120件)3年程度受診履歴がない被扶養者に健診利用を促す案内を送付する												受診率(【実績値】21.8% 【目標値】令和6年度：22% 令和7年度：23% 令和8年度：24% 令和9年度：25% 令和10年度：26% 令和11年度：27%)-							
													実施人数(【実績値】1,848人 【目標値】令和6年度：1,900人 令和7年度：2,000人 令和8年度：2,100人 令和9年度：2,200人 令和10年度：2,300人 令和11年度：2,400人)40歳以上には特定健診と併用する。 R6年度対象者 8700人																			
3	既存(法定)	生活習慣病予防健診A	全て	男女	16～34	被保険者	1	ケ	直接契約の健診機関または東振協との包括契約機関にて実施。労安法に基づく健診項目を満たしていないため、簡易検査としての位置づけ	ア,カ,ク	-	労安法に定められた事業主健診項目を一部省略してとして実施。東振協契約健診機関のみで利用可能	32,775	-	-	-	-	-	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療	【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。												
													受診者数(【実績値】1,896人 【目標値】令和6年度：2,000人 令和7年度：1,950人 令和8年度：1,900人 令和9年度：1,850人 令和10年度：1,800人 令和11年度：1,750人)R6年度対象者 14000人 A2健診の利用者が増加しているため減少傾向にある												受診率(【実績値】13.5% 【目標値】令和6年度：14.2% 令和7年度：13.9% 令和8年度：13.6% 令和9年度：13.3% 令和10年度：13% 令和11年度：12.7%)13.9							
													3	新規	生活習慣病予防検診A2	全て	男女	16～74	被保険者	1	ケ	直接契約の健診機関または東振協との包括契約機関を利用した場合だけでなく、契約健診機関以外で受診の場合にも一部補助金を支給している。	ア,カ,ク	-	労安法に基づく事業主健診として実施。主として東振協契約健診機関を利用するが、契約外健診機関においても補助金を支給する。	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療	【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
受診者数【実績値】12,290人 【目標値】令和6年度：13,000人 令和7年度：13,200人 令和8年度：13,400人 令和9年度：13,600人 令和10年度：13,800人 令和11年度：14,000人)A1健診が労安法項目を満たしていないため、事業主健診としてA1から変更する事業所が増加傾向にある R4年度対象者 50500人												受診率【実績値】24.3% 【目標値】令和6年度：25.7% 令和7年度：26% 令和8年度：26.4% 令和9年度：26.7% 令和10年度：27.1% 令和11年度：27.4%)A1健診とB健診と対象年齢が重複するため実施率として単独で算出が難しい								
3	既存(法定)	生活習慣病予防健診B	全て	男女	35～74	被保険者	1	ケ	直接契約の健診機関または東振協との包括契約機関を利用した場合に加え、契約健診機関以外で受診の場合にも一部補助金を支給している。	ア,カ,ク	-	180,598	-	-	-	-	-	健康状態の確認、疾病の早期発見・早期治療	【被保険者】 ・1人あたり医療費が「循環器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では癌及び付属器が多い。 【被扶養者】 ・1人あたり医療費が「呼吸器系」「新生物」「内分泌」の順で高い。受診者数では皮膚及び皮下組織が多い。	
受診者数【実績値】14,217人 【目標値】令和6年度：18,000人 令和7年度：18,200人 令和8年度：18,400人 令和9年度：18,600人 令和10年度：18,800人 令和11年度：19,000人)特定健診の受診率向上に寄与 R6年度対象者数 約36500人												受診率【実績値】39% 【目標値】令和6年度：49.0% 令和7年度：49.3% 令和8年度：49.6% 令和9年度：49.9% 令和10年度：50.1% 令和11年度：50.4%)-								
4,6	新規	ハイリスクアプローチ	全て	男女	16～(上限なし)	加入者全員	1	イ	健診結果をフィルタリングし、要早期治療者となる加入者に健診機関からの結果通知とは別に早期受診を促す書面を送付する。さらに同封のアンケートの回答者に対して健康に関するアドバイスを行う。	ア,ウ	-	年6回送付。	前年度を踏襲	前年度を踏襲	前年度を踏襲	前年度を踏襲	前年度を踏襲	医療費が高額となる重度の脳・心疾患や人工透析の発症を抑える	・被保険者は気分障害、神経症性障害・ストレス関連障害が医療費、受診者数とも多い(主に職場のストレスを原因とするもの)。 ・1人あたり外来医療費は年間約3,600～4,000千円前後と高額。 ・透析者数総計はほぼ横ばい。新規透析者・脱出も横ばい。 ・いずれも「高止まり」の傾向 →(前回レポート引用)第2期時の透析医療費(透析者数)：2014年1,145千円(42人)、2015年3,603千円(50人)、2016年3,656千円(55人)	
通知発送【実績値】- 【目標値】令和6年度：3,000件 令和7年度：3,000件 令和8年度：3,000件 令和9年度：3,000件 令和10年度：3,000件 令和11年度：3,000件)-												要早期治療者減少率【実績値】- 【目標値】令和6年度：3% 令和7年度：3% 令和8年度：3% 令和9年度：3% 令和10年度：3% 令和11年度：3%)1-(通知発送件数-通知から対象外となった人数)/通知発送件数にて算出								
体育奨励	8	既存	夏季プール施設契約	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	利用料金の一部を補助	シ	-	3,920	-	-	-	-	-	加入者の健康増進・リフレッシュ	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
利用者数【実績値】2,715人 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)-												着券率【実績値】19% 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%)配布枚数に対する利用者数								
その他	8	既存	契約保養施設	全て	男女	7～(上限なし)	加入者全員	1	ス	一部契約業者を利用するにあたり一泊につき3,000円(子供は2,000円)を年間2泊まで補助	シ	-	2,700	-	-	-	-	-	加入者の健康増進・リフレッシュ	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
紹介記事【実績値】3回 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)広報誌にて保養所案内を掲載して認知を広める												(アウトカムは設定されていません)								
利用者数【実績値】685人 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)-																				
5	既存	共同保健指導宣伝	一部の事業所	男女	18～74	加入者全員	1	ス	一般社団法人東京都総合保健施設振興協会が実施する健康増進イベント「いきいき健康づくり」への参加	ク	-	関東近県の事業所へ東振協を通じて開催の案内を送付 広報誌にも掲載する	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	健康の保持増進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
参加者数【実績値】24人 【目標値】令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)-												(アウトカムは設定されていません)								
予算措置なし	1	既存	医療費諸統計の作成	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ	被保険者・被扶養者の資格、診療報酬、現金給付等により諸統計資料を作成	ア	-	月次毎に集計し、前月・前年度と比較する。	月次毎に集計し、前月・前年度と比較する。	月次毎に集計し、前月・前年度と比較する。	月次毎に集計し、前月・前年度と比較する。	月次毎に集計し、前月・前年度と比較する。	医療費の適正化	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラ クチャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
報告回数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)事業運営の参考として作成												事業運営の参考とするため (アウトカムは設定されていません)								
1	既存	医療事務研究会	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	その他	1	カ	各種医療事務研究会に積極的に参加	エ	-	月に1度の医療事務研究会に職員を派遣する。また、年間9回程度開催されるレセプト勉強会に職員を派遣する。	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	医療費の適正化	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
医療事務研究会参加(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												再審査請求(【実績値】3,600件 【目標値】令和6年度：4,000件 令和7年度：4,000件 令和8年度：4,000件 令和9年度：4,000件 令和10年度：4,000件 令和11年度：4,000件)-								
レセプト勉強会参加者(【実績値】0人 【目標値】令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)-																				
5	新規	フィットネスクラブ法人契約	全て	男女	15 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	ス	-	シ	-	加入者の利便性を鑑みつつ、利用施設の拡充を図る	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	前年を踏襲して実施	運動習慣が定着することによって健康リスクの軽減を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
広報誌記事掲載(【実績値】- 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)施設との契約に当たり、広報誌への広告掲載が必須となっているため												会員者数が少ないと思われるため。 (アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他